

令和 7 (2025)年10月／令和 8 (2026)年度4月・10月

岐阜大学大学院連合農学研究科

(後期 3 年のみの博士課程)

学生募集要項

令和7(2025)年10月入学

・第3次

令和8(2026)年4月入学

・第1次 ・岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻

令和8(2026)年4月・10月入学

・第2次 ・外国人特別入試 ・英語特別プログラム入試

構 成 大 学

[岐阜大学・静岡大学]

連携研究機関

(国立研究開発法人 産業技術総合研究所
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
国立研究開発法人 森林研究・整備機構)

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学大学院連合農学研究科

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

TEL (058) 293-2984・2985

FAX (058) 293-2992

THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURAL SCIENCE,
GIFU UNIVERSITY
(THREE-YEAR DOCTORAL COURSE)

GUIDELINES FOR APPLICANTS

FOR ENTRANCE IN OCTOBER, 2025

・The Third Admission

FOR ENTRANCE IN APRIL, 2026

・The First Admission

・International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology
between Gifu University and Indian Institute of Technology Guwahati

FOR ENTRANCE IN APRIL・OCTOBER, 2026

・The Second Admission

・SPECIAL ADMISSION FOR INTERNATIONAL STUDENTS
・ENGLISH PROGRAM FOR INTERNATIONAL STUDENTS

AFFILIATED UNIVERSITY

[Gifu University・Shizuoka University]

COLLABORATIVE INSTITUTE

(National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
National Agriculture and Food Research Organization
National Research and Development Agency Forest Research and Management Organization)

The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University

1-1 Yanagido, Gifu 501-1193, JAPAN

Phone: +81-58-293-2984, 2985

Fax: +81-58-293-2992

当研究科を志望する方へ

不測の事態(災害及び感染症等)が発生した場合、募集要項の内容を変更する場合がございます。変更が生じた場合は、岐阜大学大学院連合農学研究科のホームページにて随時お知らせしますので、注意してご確認ください。

To, All applicants of the United Graduate School of Agricultural Sciences, Gifu University,

The application guideline is subject to change in case of unexpected situations, such as natural disasters or infectious outbreaks. Information will be updated through the website of UGSAS-GU (<https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/>), so applicants are advised to take a close look at the website.

出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。
なお、登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

インターネット出願サイトでの入力には必ず志願者本人が行ってください。

MyPage registration must be made prior to application. Please start the process early enough to complete the application successfully.

Please note that important information regarding the entrance examination will be sent to the registered e-mail address, so the e-mail address must be the one that can be checked frequently without the possibility of change or being deleted.

Be sure to enter the required information on the Application Site by yourself.

目 次

【入試に関すること】

連合農学研究科入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）	1
入試の概要	2
フローチャート	3
令和7年度・第3次／令和8年度・第1次・第2次入試	4
外国人特別入試	17
英語特別プログラム入試	23
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻選抜試験	29
フランス・リール大学生物・健康科学専攻との共同指導学位プログラム	34
リトアニア・ヴィータウタス・マグヌス大学農業アカデミーとの共同指導学位プログラム	36

【岐阜大学大学院連合農学研究科の概要】

1. 設置の趣旨	40
2. 専攻の内容	40
3. 教育上の特色	41
4. 修了要件・学位	41
主指導教員となり得る者の教育研究分野・受験専門科目一覧	42
入試統計	90
試験場への案内	91
岐阜大学構内案内図	93

CONTENTS

【Admissions】

UGSAS, GU Admission Policy	46
Admissions Overview	48
Flowchart	49
2025 The Third Admission／2026 The First/The Second Admission	50
Special Admission for International Students	65
English Program for International Students	71
International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology between Gifu University and Indian Institute of Technology Guwahati	77

【Outline of the UGSAS, GU】

1. Purpose of Foundation	83
2. Outline of Specialized Courses	83
3. Special Features of the United Graduate School of Agricultural Science	84
4. Requirements for Doctoral Degree	85
Fields of Instruction and Research Themes of Professors	86
Admission Statistics	90
Maps and Directions	92
Campus Map	94

連合農学研究科入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

本研究科は、静岡大学大学院総合科学技術研究科及び岐阜大学大学院自然科学技術研究科が中心となり、2つの大学が有機的に連合することによって、特徴ある教育・研究組織を構成し、単位制教育による多様な科目を提供し、複数教員による博士論文研究指導を進めています。

農学の理念は、地球という生態系の中で、環境を保全し、食料や生物資材の生産を基盤とする包括的な科学技術及び文化を発展させ、人類の生存と福祉に貢献することです。またこの学問は、人間の生活にとって不可欠な生物生産と人間社会との関わりを基盤とする総合科学であり、生命科学、生物資源科学、環境科学、生活科学、社会科学等を主要な構成要素としています。（平成14年「農学憲章」より抜粋）

本研究科は、生物（動物、植物、微生物）生産、生物環境及び生物資源に関する諸科学について、高度の専門能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者及び高度専門技術者を養成し、農学の進歩と生物資源関連産業の発展に寄与することを目指しています。そして、農学の持つ幅広い知識を学び、課題を探究し、境界領域や複合領域における諸問題の解決及び課題発掘能力を醸成する教育を行います。また、高度な農学の諸技術や科学の習得を希望する外国人留学生も積極的に受け入れます。

求める学生像

1. 人類の生存を基本に農学の総合性を理解し地域及び社会貢献に意欲を持つ人
2. 研究課題を自ら設定し、その課題にチャレンジする意欲を持つ人
3. 専門の知識だけでなく、幅広い知識の吸収に意欲を持つ人
4. 倫理観を持ち、農学及び関連分野でリーダーシップを発揮できる人
5. 国際的に活躍する意欲があり、そのための基礎力を持つ人

各専攻の入学者受入れの方針

生物生産科学専攻

作物の肥培管理及び家畜の飼養管理、動植物の保護・遺伝育種、生産物の利用、農林畜産業の経営、経済及び物流に関する諸問題を総合し、第1次産業としての植物及び動物の生産から、加工・流通を経て、消費者への供給に至るまでの生物関連産業の全過程に関する学理と技術に関する諸問題に関心を持ち、これらに関し社会から必要とされる研究に意欲を持つ人を求めます。

生物環境科学専攻

地球規模の環境と生物のかかわりや農林業等の生物生産の基礎となる自然環境に関する諸問題について生態学・生物学的、物理学的及び化学的手法によって学理を究めようとする人を求めます。

また、持続可能な生物資源の管理、森林生態系や農地生態系の環境保全に関する原理と技術について研究することで社会に貢献することに強い意欲を持つ人を求めます。

生物資源科学専攻

動物、植物、微生物等の生物資源とその生産基盤である土壌について、その組織・構造・機能を物理化学・有機化学・生化学・分子及び細胞生物学など多面的かつ総合的立場から解析することによって、生物資源及び生命機能に関する基盤的な学理を極め、さらに未利用資源を含めた生物資源のより高度な利活用、新規機能物質の創製、環境改善への応用に関する原理の理解と技術の修得に意欲を持つ人を求めます。

国際連携食品科学技術専攻

留学を伴う国際的な教育環境の中で食品科学技術に関する学識と高度な技術を修得し、食品に関連する日印両地域の課題解決に貢献しようとする意欲的な学生を求めます。

入試の概要

《第3次入試》（詳細は4ページ以降に記載）

- ・修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者、相応の資格があると認定された者が受験することができる。
- ・試験は語学能力及び口頭試験。
外国語試験のスコアを提出（2021年4月以降に受験した以下のいずれかにより判定する。）
（英語）① TOEFL iBT のスコアレポート
② TOEFL ITP のスコアレポート
③ TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証又はデジタル公式認定証
④ TOEIC L&R IP テストのスコアレポート
⑤ IELTS の 成績証明書
（日本語）※外国語試験で日本語が選択できるのは、外国籍の者に限る。
① JLPT の 成績証明書

《第1次・第2次入試》（詳細は4ページ以降に記載）

- ・修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者、相応の資格があると認定された者が受験することができる。
- ・試験は語学能力及び口頭試験。
外国語試験のスコアを提出（2022年4月以降に受験した以下のいずれかにより判定する。）
（英語）① TOEFL iBT のスコアレポート
② TOEFL ITP のスコアレポート
③ TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証又はデジタル公式認定証
④ TOEIC L&R IP テストのスコアレポート
⑤ IELTS の 成績証明書
（日本語）※外国語試験で日本語が選択できるのは、外国籍の者に限る。
① JLPT の 成績証明書

《外国人特別入試》（詳細は17ページ以降に記載）

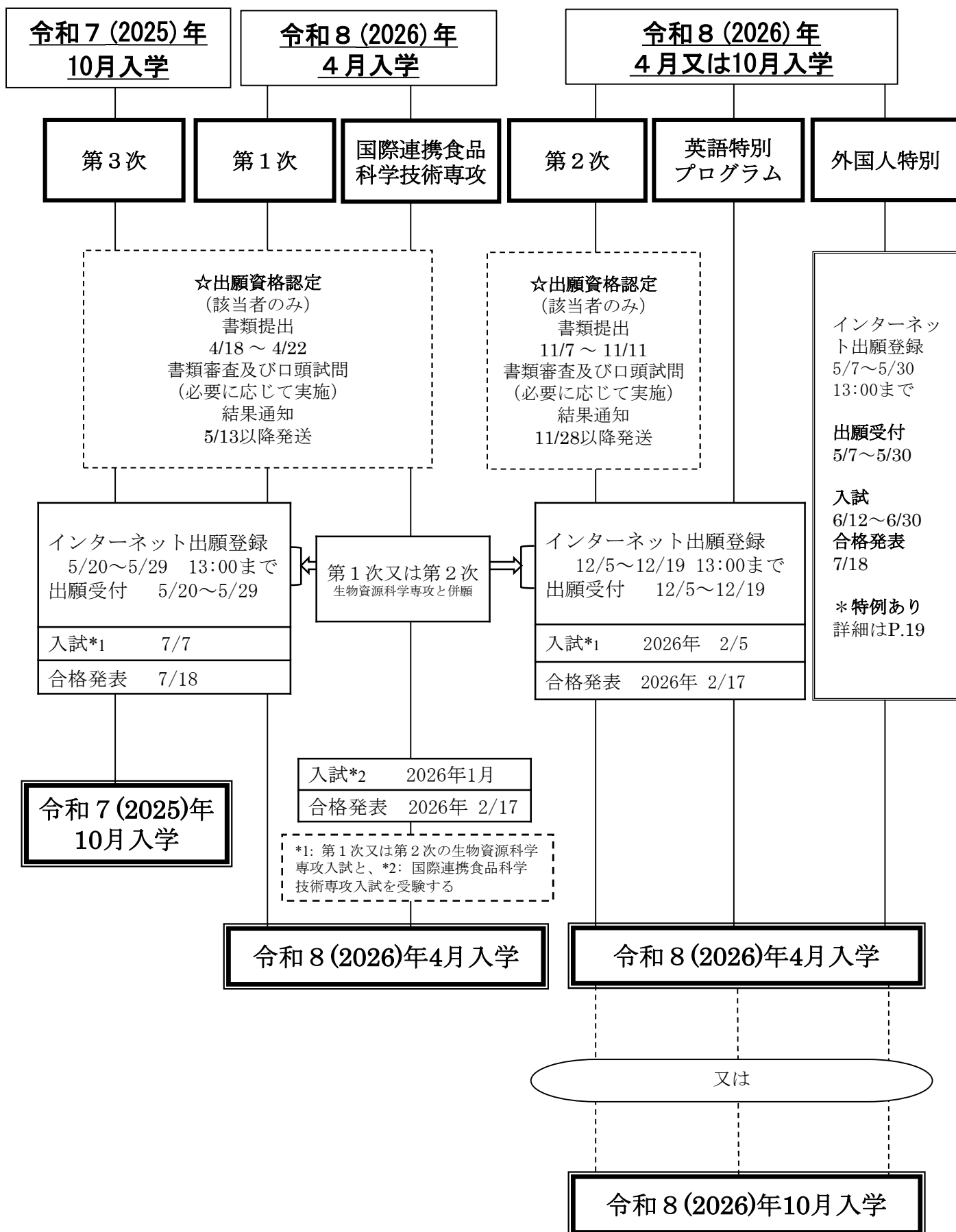
- ・修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者で、英語能力が十分だと判断できる者が受験できる。
- ・試験は6月に行う。試験科目は口頭試験。
特例として、以下の者は随時受験することができる。
① コンソーシアム加盟大学（対象の大学名は19ページに記載）の理科系の修士課程を修了又は修了見込みの者
② コンソーシアム加盟大学に在職中の者
③ 本研究科において特別に認められた者

《英語特別プログラム入試》（詳細は23ページ以降に記載）

- ・次の（1）～（4）のすべてを満たす者が受験できる。
（1）修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
（2）外国人留学生で、入学後3年以内に学位取得ができる優秀な者
（3）出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等から推薦された者
（4）英語能力試験において次のいずれかを満たしていること。
① TOEFL iBT : 72 点以上
② IELTS : 5.5 点以上
- ・試験は2月に行う。試験科目は口頭試験。

《岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻選抜試験》 （詳細は29ページ以降に記載）

- ・2段階の選抜試験の成績、学術成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行なう。
（1）岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻選抜試験
口頭試験を両大学合同で行う。試験に使用する言語は英語とする。
（2）連合農学研究科選抜試験（生物資源科学専攻の第1次入試又は第2次入試）
国際連携食品科学技術専攻への出願は、生物資源科学専攻との併願とする。
岐阜大学大学院連合農学研究科で実施される第1次、あるいは第2次に、希望する主指導教員が所属する生物資源科学専攻の第1次入試または第2次入試を受験する。
（3）英語試験におけるスコアシートの提出
英語能力は、TOEFL または TOEIC スコアによって判定する。判定の目安は以下のとおりである。
① TOEFL iBT : 80 点以上
② TOEIC Listening & Reading Test : 730 点以上
③ IELTS : 6 点以上



令和 7 年度 ・ 第 3 次
令和 8 年度 ・ 第 1 次
・ 第 2 次入試

1. 募集人員

専攻	募集人員
生物生産科学	7人
生物環境科学	5人
生物資源科学	6人
国際連携食品科学技術	2人
計	20人

※この募集人員数は、入学年度の、第1次・第2次・第3次入試、外国人特別入試、英語特別プログラム入試、岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻入試を合計した人員数である。

2. 入学時期

第3次：2025年10月、第1次：2026年4月、第2次：2026年4月又は2026年10月

ただし、出願時に2026年4月入学を希望した者が、2026年10月入学に変更したい場合、2026年2月27日（金）までに理由書を岐阜大学大学院連合農学研究科連合農学係に提出すること。

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位を有する者又は授与される見込み*の者

*2025年10月入学希望者：2025年9月末日、

2026年4月入学希望者：2026年3月末日、2026年10月入学希望者：2026年9月末日

- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格又は合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
(博士論文研究基礎力審査)
- 1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専門科目分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期の課程において修得し、又は涵養すべきものについての試験
- 2) 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期の課程において修得すべきものについての審査
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年告示第118号）
{平成元年告示第118号（抄）平成13年3月30日一部改正：大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者}
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

4. 出願資格の認定

前頁「3. 出願資格(7)」に該当する者の認定は、次の提出書類及び必要に応じて行う口頭試問等に基づいて認定する。

なお、認定した出願資格の有効期間は、認定した年度を含め3年間である。有効期間中に出席する場合には、本研究科からの出願資格認定通知書の写しを添付することにより、出願資格認定に代えることができる。

提出書類

(1) 入学試験出願資格認定申請書① (別紙様式第7号)	本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし、作成すること。 (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/examinee/) 自筆で署名又は押印すること。	1 通
(2) 履歴書 (別紙様式第2号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。	1 通
(3) 研究歴証明書 (別紙様式第8号)	研究に従事した官公庁、企業等の研究機関の長が作成したものを研究機関ごとに提出すること。	1 通
(4) 卒業証明書 (最終学校)	出身学校長が作成したものを提出すること。	1 通
(5) 研究業績書 (別紙様式第9号：表紙用)	A4サイズ of 用紙を使用し、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、(別紙様式第9号)を表紙として付けたものを、提出すること。	10 通 (正1通・副 (コピー可) 9 通)
(6) 研究成果資料	著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を示す資料。	1 通

4-2) 出願資格の認定

前頁「3. 出願資格(8)」に該当する者の認定は、次の提出書類及びこれまでの研究内容等を中心とした口頭試問に基づいて認定する。

提出書類

(1) 入学試験出願資格認定申請書② (別紙様式第7号-2)	本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし、作成すること。 (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/examinee/) 自筆で署名又は押印すること。	1 通
(2) 履歴書 (別紙様式第2号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。	1 通
(3) 研究歴証明書 (別紙様式第8号)	研究に従事した官公庁、企業等の研究機関の長が作成したものを研究機関ごとに提出すること。	1 通
(4) 卒業証明書 (最終学校)	出身学校長が作成したものを提出すること。	1 通
(5) 研究業績書 (別紙様式第9号：表紙用)	A4サイズ of 用紙を使用し、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、(別紙様式第9号)を表紙として付けたものを、提出すること。	10 通 (正1通・副 (コピー可) 9 通)
(6) 研究成果資料	著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を示す資料。	1 通

4－3) 提出期間

第3次・第1次	2025年4月18日(金)～4月22日(火)まで(必着)
第2次	2025年11月7日(金)～11月11日(火)まで(必着)

提出書類は、持参又は郵送とする。持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、「簡易書留・速達」(表に「入学試験出願資格認定願書在中」と朱書きすること。)とする。海外在住の方はEMS, FedEx, DHL等とする。受付期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しない。

4－4) 認定結果

第3次・第1次	2025年5月13日(火)以降にメールで通知する。
第2次	2025年11月28日(金)以降にメールで通知する。

5. 出願手続

出願手続は、インターネット出願サイト(10ページ参照)で出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、願書受付期間内に到着するように出願書類を提出する。出願期間内に到着した書類に不備が無く、かつ出願資格を有することが確認された時点で、出願手続が完了する。

インターネット出願登録及び検定料払込期間

第3次・第1次	2025年5月20日(火)～5月29日(木) 13:00まで
第2次	2025年12月5日(金)～12月19日(金) 13:00まで

検定料の支払い期限は、出願登録日を含め4日間(※)であり、支払期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的に取り消しとなる。出願登録が取り消しとなったときは再登録すること。

※払込締切日が4日以内より短い場合は、払込締切日が優先される。

海外在住者は、クレジットカードで払い込むこと。

検定料：30,000 円	<p>入学検定料のほかに支払手数料が必要となる。手数料の額は、支払手続き画面に表示される。</p> <p>※第3次：2025年9月、第1次：2026年3月、第2次：2026年3月又は9月に静岡大学大学院又は岐阜大学大学院(以下「構成大学」という。)の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学を志願するものは不要である。</p> <p>※日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要である。ただし、国費外国人留学生証明書を提出すること。</p> <p>上記※の者は、パスワードが必要になるため、出願前に問い合わせること。インターネット出願サイトの出願時に「検定料について」で「該当する」をチェックすること。</p> <p>なお、本来入学検定料を支払うべき者が、誤って「検定料について」において、「該当する」を選択し、入学検定料を支払わず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>大規模自然災害により被災した入学志願者に対して、検定料免除の特別措置を行う。詳細は岐阜大学ホームページ(https://www.gifu-u.ac.jp/)を参照すること。該当者は予め所定の期日までに所定の書類を提出すること。</p> </div>
--------------	---

願書受付期間

第3次・第1次	2025年5月20日(火)～5月29日(木)まで(必着)
第2次	2025年12月5日(金)～12月19日(金)まで(必着)

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

インターネット出願サイトから宛名シートを印刷し、市販の角形2号の封筒(縦33.2cm×横24.0cm)に貼り付けて提出すること。郵送の場合は、「簡易書留・速達」(海外在住の方はEMS, FedEx, DHL等)とする。出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しない。

受験票の印刷

第3次・第1次	2025年6月11日(水)以降にメールで通知する。
第2次	2026年1月14日(水)以降にメールで通知する。

出願が受理された志願者は、インターネット出願登録サイトから受験票のダウンロードが可能になる。受験票を印刷して、試験当日に持参すること。

(注1) インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではない。試験当日は受付番号での受験はできないため必ず受験票を持参すること。

(注2) 試験当日にスマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めない。

出願書類

(1) 岐阜大学大学院志願票	[インターネット出願サイトから出力されたものを、A4サイズで片面カラー印刷すること。] ※出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの顔写真データを用意し、インターネット出願サイトからアップロードすること。	1 通
(2) 入学願書 (別紙様式第1号)	本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし、作成すること。 (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/examinee/) 氏名の“英語表記(in English)”の欄には、パスポートに記載されているアルファベット氏名を記入すること。 自筆で署名又は押印すること。 国際連携食品科学技術専攻を志願する者(別紙様式第1号-4)	1 通
(3) 履歴書 (別紙様式第2号)	本研究科所定の用紙に必要な事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。 (出願資格の認定申請をした者は不要)	1 通
(4) 学業成績証明書等 (原本)	出身大学の成績証明書 出身大学院の成績証明書	1 通 1 通
	出身の短期大学その他の学校又は教育施設が発行した学業成績証明書	1 通 (該当者のみ)
(5) 語学能力証明書の写し	[第3次] 2021年4月以降に受験した以下のいずれかを提出すること。 [第1次・第2次] 2022年4月以降に受験した以下のいずれかを提出すること。 (英語) ① TOEFL iBT のスコアレポート ② TOEFL ITP のスコアレポート ③ TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証 又はデジタル公式認定証(URL及び印刷したもの) ④ TOEIC L&R IP テストのスコアレポート ⑤ IELTS の 成績証明書 (日本語) ※外国語試験で日本語が選択できるのは、外国籍の者に限る。 ① JLPT の 成績証明書	1 通

(6) 修士課程修了（見込）証明書又は最終学校の卒業証明書（原本）	出願資格(6)に該当する者は、博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認資料	1 通
(7) 修士論文等 (別紙様式第3号：表紙用)	ア. 修士課程修了者 a 修士論文の写し（論文がない場合はこれに代わるもの）	1 通
	b 修士論文概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第3号）を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
	イ. 修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書(図表を含み、和文の場合は 10,000 字程度、英文の場合は 6,000 語程度)	1 通
	b 研究経過概要 A4 サイズの用紙（横書き）を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第3号）を表紙として付け提出すること。 ウ. 本要項3. の出願資格(7) 及び(8) に基づく志願者にあつては、修士学位相当の論文（1 部）及びその概要5 通（A4 サイズの用紙（横書き）を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第3号）を表紙として付け提出すること。）	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通) 修士学位相当論文1 部 概要5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
(8) 研究計画書 (別紙様式第4号：表紙用)	どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの（A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第4号）を表紙として付け提出すること。）	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
(9) 推薦書 (別紙様式第 5 号)	出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等が作成したものを提出すること。	1 通
(10) 受験承諾書 (別紙様式第 6 号)	大学、官公庁、企業又は団体等に在職している者は、所属長の受験承諾書を提出すること。	1 通
(11) 出願資格認定通知書の写し	2023年度、2024年度に出願資格認定を受けた者で、引続き今年度出願する者は、出願資格認定通知書をコピーして提出すること。	1 通 (該当者のみ)
(12) 住民票又はパスポートの写し (外国人志願者)	A 日本国に居住している外国人： (a)，(b) 両方を提出 (a) 市区町村の発行する在留資格が記載された住民票の写し (b) パスポートの写し B 上記A以外の外国人： パスポートの写し ない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書の写し。	1 通
(13) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第 10 号)	出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入したものを提出すること。	1 通
(14) 類型該当性の自己申告書 (様式1／別紙)	「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となる。申告書裏面の「類型該当性判断のフローチャート」に基づいて記入すること。	1 通

6. インターネット出願の流れ

(次ページ以降)

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



(顔写真データ)

STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/gifu-gs/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



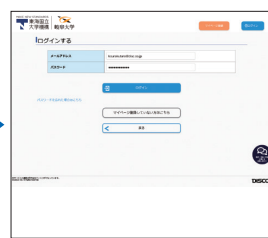
②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



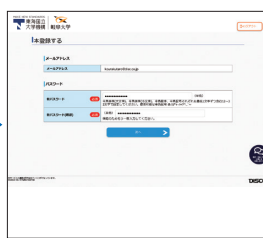
③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



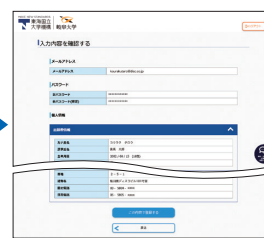
⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

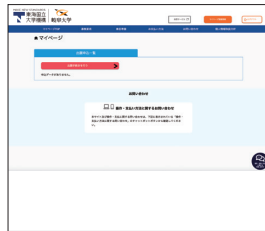
STEP

4

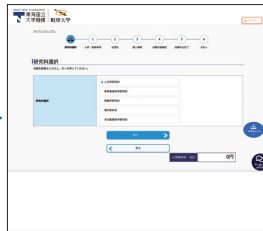


出願内容の登録

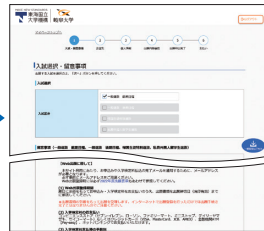
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、宛名シートが確認
できます。

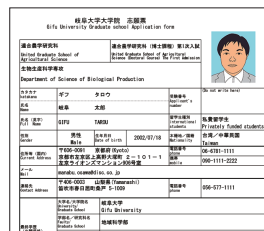


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれ
よりも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

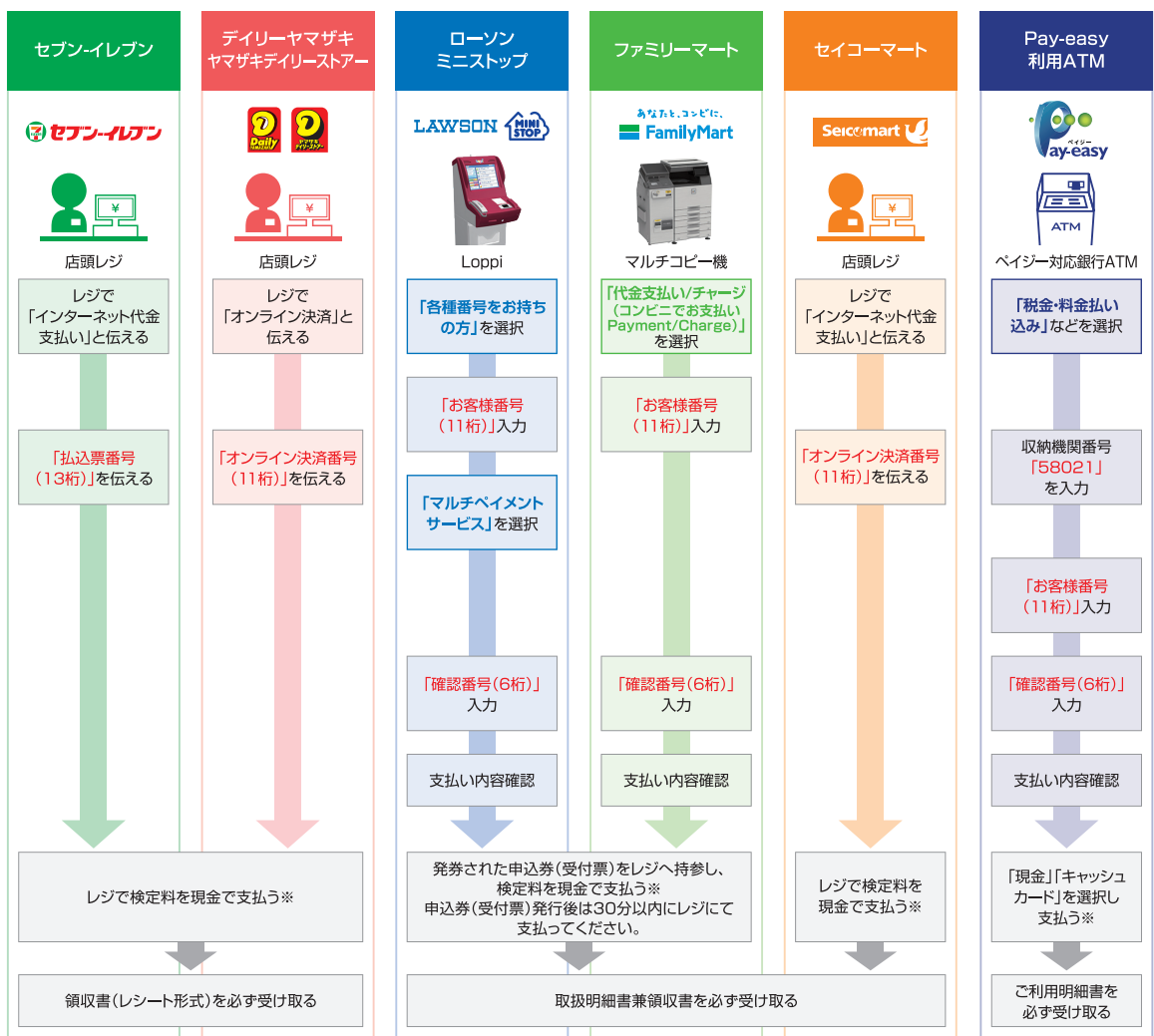
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**簡易書留速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類

⚠ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類
志願票
- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
履歴書 など
- 出身大学等に発行を依頼する証明書
証明書



出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試

7. 選抜の方法

学力検査の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

(1) 語学能力

外国語試験のスコアを提出

[第3次] 2021年4月以降に受験した以下のいずれかにより判定する。

[第1次・第2次] 2022年4月以降に受験した以下のいずれかを提出すること。

(英語)

① TOEFL iBT のスコアレポート

② TOEFL ITPのスコアレポート

③ TOEIC Listening & Reading Testの公式認定証又はデジタル公式認定証

④ TOEIC L&R IPテストのスコアレポート

⑤ IELTS の 成績証明書

(日本語) ※外国語試験で日本語が選択できるのは、外国籍の者に限る。

① JLPT の 成績証明書

(2) 口頭試問

ア. 専門科目に関する基礎力を問う問題 (10分程度)

イ. 修士論文又は修士論文相当の論文の内容及び研究計画書を中心とした口頭試問を行う。

{内容説明30分(プロジェクター及びノートパソコン(Windows)使用可)、質疑応答20分程度}

8. 試験の日時及び場所

第3次・第1次	2025年7月7日(月)	試験科目	時間	場所
第2次	2026年2月5日(木)	口頭試問	別途指定された時間	岐阜大学大学院 連合農学研究科

9. 合格発表

第3次・第1次	2025年7月18日(金)	時間	備考
第2次	2026年2月17日(火)	10:00	岐阜大学のホームページ(https://www.gifu-u.ac.jp/)に合格者の受験番号を掲載する。 合格者はインターネット出願サイトより合格通知書を出力できる。

10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることがないように必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けている。

相談の内容によっては対応に時間を要することがあるので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談すること。

なお、事前相談は受験に関して、よりよい方法及び在り方を模索するためのもので、入試結果の判定において不利になることはない。

また、入学後の修学に関して相談を希望する者は、本研究科へ問い合わせること。

(1) 相談時期

出願期間の開始日の一週間前までに相談すること。

※日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から受験場の配慮として申請すること。

(2) 相談方法

下記の書類を提出すること。なお、必要な場合には志願者又は関係者との面談等を行うことがある。

- a 障害者等受験上の配慮申請書（本学所定の用紙）
- b 医師の診断書及び障害者手帳の写し

(3) 本学所定の用紙の請求方法

用紙は、岐阜大学のホームページ〈入試案内〉からダウンロードすること。

郵便で障害者等受験上の配慮申請書の用紙を請求する場合は、封筒の表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書きし、110 円分の切手を貼った返信用封筒（長形 3 号封筒（縦 23.5cm × 横 12.0cm））を同封し、本研究科へ送付すること。

※同封の返信用封筒には、住所、郵便番号、氏名（宛名）を明記すること。返信用封筒は折りたたんで構わない。

(4) 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、至急本研究科へ問い合わせること。

1 1. 入学手続

(1) 入学手続について

岐阜大学のホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp/>) 上にて、入学手続の詳細を掲載する。ホームページの案内に従い速やかに手続を進めること。詳しい日時については別途通知する。

(2) 入学辞退について

入学手続を所定の期日までに行わない者は、本学への入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなす。

(3) 入学に要する経費

入学料 282,000 円（予定額）

* 入学手続時には、入学料の他、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となる。

* 第 3 次：2025 年 9 月、第 1 次：2026 年 3 月、第 2 次：2026 年 3 月又は 9 月に構成大学の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者は不要である。

* 入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

1 2. 授業料

授業料（半期分） 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

* 授業料は 5 月と 11 月に口座振替にて納入すること。

* 日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は入学料、授業料とも不要である。

* 授業料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

1 3. 長期履修について

本研究科では、大学院設置基準第 15 条に定める「長期履修学生制度」（学生が、職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的な教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができるもの）を導入している。

この制度を希望する者は、出願期間中に申し出ること。

1 4. 注意事項

- (1) 出願にあたっては、事前に入학을希望する教育研究分野の主指導教員予定者と相談すること。
- (2) 出願書類は、出願書類受理後、いかなる理由があっても返還しない。出願書類の記載事項の変

更も認めない。

- (3) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがある。

15. 検定料の返還について

- (1) 次に該当した場合のみ、検定料を返還する。

- ① 出願書類が受理されなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
- ④ 日本国政府国費外国人留学生が誤って納入した場合

- (2) 返還請求の方法

上記に該当した場合は申し出ること。「検定料返戻請求書」に必要事項を記入の上、郵送すること。

16. 個人情報の取扱いについて

この出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、願書に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格発表、合格された場合の入学関係書類の送付等のために利用し、その他の目的には利用しない。

外国人特別入試

1. 募集人員

5 ページ「1. 募集人員」を参照すること。

2. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は、2026 年 4 月又は 2026 年 10 月である。ただし、出願時に 4 月入学を希望した者が、10 月入学に変更したい場合、2026 年 2 月 27 日（金）までに理由書を岐阜大学大学院連合農学研究科連合農学係に提出すること。

3. 出願資格

修士の学位を授与された者及び 2026 年 3 月末日（2026 年 4 月入学希望者）又は 2026 年 9 月末日（2026 年 10 月入学希望者）までに授与される見込みの者で、次の各号のいずれにも該当する者。

- ① 外国人留学生で、入学後 3 年以内に学位取得ができる優秀な者
- ② 出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等から推薦された者
- ③ 英語能力が十分な者

4. 出願・試験日程

	期 日	*特 例 (出願前に問い合わせること)	備 考
インター ネット出 願登録及 び検定料 払込期間	2025 年 5 月 7 日 (水) ～ 5 月 30 日 (金) 13:00 まで	(4 月入学希望者) 2025 年 6 月 2 日 (月) ～ 2025 年 12 月 19 日 (金) (10 月入学希望者) 2025 年 6 月 2 日 (月) ～ 2026 年 5 月 29 日 (金)	在学生は所属大学研究科長、有職者は所属長、その他の者は出身大学の研究科長を通じて、岐阜大学大学院連合農学研究科連合農学係へ提出すること。 出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前 9 時から午後 4 時までとする。
願書受付 期間	2025 年 5 月 7 日 (水) ～ 5 月 30 日 (金) (必着)	(4 月入学希望者) 2025 年 6 月 2 日 (月) ～ 2025 年 12 月 19 日 (金) (必着) (10 月入学希望者) 2025 年 6 月 2 日 (月) ～ 2026 年 5 月 29 日 (金) (必着)	インターネット出願サイトから宛名シートを印刷し、市販の角形 2 号の封筒 (縦 33.2cm×横 24.0cm) に貼り付けて提出すること。 郵送の場合は、「簡易書留・速達」(海外在住の方は EMS, FedEx, DHL 等) とする。出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しない。
試 験	2025 年 6 月 12 日 (木) ～ 6 月 30 日 (月)	2025 年 7 月 1 日 (火) ～2026 年 6 月 30 日 (火)	岐阜大学、志願者の出身大学及び入試委員会が定める所定の場所において、「7. 選抜の方法」で定められた方法で面接を行う。
合格発表	2025 年 7 月 18 日 (金) 10:00	試験後 30 日以内に通知 する	岐阜大学のホームページ (https://www.gifu-u.ac.jp/) に合格者の受験番号を掲載する。 * 特例は岐阜大学大学院連合農学研究科のホームページ (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/) に掲載する。 合格者はインターネット出願サイトより合格通知書を出力できる。

* 特例として、以下の者は、随時受験することができる。

① コンソーシアム加盟大学の理科系の修士課程を修了又は修了見込みの者

② コンソーシアム加盟大学に在職中の者

<p>コンソーシアム加盟大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バン格拉デシュ農業大学(バン格拉デシュ)・ダッカ大学(バン格拉デシュ)・広西大学(中国) ・アッサム大学(インド)・インド工科大学グワハティ校(インド)・アンダラス大学(インドネシア) ・ボゴール農科大学(インドネシア)・ガジヤマダ大学(インドネシア)・バンドン工科大学(インドネシア) ・スブラス・マレット大学(インドネシア)・ランボン大学(インドネシア)・ラオス国立大学(ラオス) ・マリアノ・マルコス州立大学(フィリピン)・チュラロンコン大学(タイ)・カセサート大学(タイ) ・キングモンクット工科大学ラカバン校(タイ)・キングモンクット工科大学トンブリ校(タイ) ・ハノイ工科大学(ベトナム)・チュイロイ大学(ベトナム) <p>(2025年4月現在)</p>

③ 本研究科において特別に認められた者

5 . 出願手続

出願手続は、インターネット出願サイト（10 ページ参照）で出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、願書受付期間内に到着するように出願書類を提出する。出願期間内に到着した書類に不備が無く、かつ出願資格を有することが確認された時点で、出願手続きが完了する。

検定料の支払い期限は、出願登録日を含め 4 日間(※)であり、支払期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的に取り消しとなる。出願登録が取り消しとなったときは再登録すること。

※払込締切日が 4 日以内より短い場合は、払込締切日が優先される。

海外在住者は、クレジットカードで払い込むこと。

<p>検定料：30,000 円</p>	<p>入学検定料のほかに支払手数料が必要となる。手数料の額は、支払手続き画面に表示される。</p> <p>※日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要である。</p> <p>上記※の者は、パスワードが必要になるため、出願前に問い合わせること。インターネット出願サイトの出願時に「検定料について」で「該当する」をチェックすること。</p> <p>なお、本来入学検定料を支払うべき者が、誤って「検定料について」において、「該当する」を選択し、入学検定料を支払わず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>大規模自然災害により被災した入学志願者に対して、検定料免除の特別措置を行う。詳細は岐阜大学ホームページ (https://www.gifu-u.ac.jp/) を参照すること。該当者は予め所定の期日までに所定の書類を提出すること。</p> </div>
---------------------	--

受験票の印刷

出願が受理された志願者は、インターネット出願登録サイトから受験票のダウンロードが可能になる。受験票を印刷して、試験当日に持参すること。＊詳しい日時については別途通知する。

（注 1）インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではない。試験当日は受付番号での受験はできないため必ず受験票を持参すること。

（注 2）試験当日にスマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めない。

出願書類

(1) 岐阜大学大学院志願票	<p>[インターネット出願サイトから出力されたものを、A4 サイズで片面カラー印刷すること。]</p> <p>※出願前 3 ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの顔写真データを用意し、インターネット出願サイトからアップロードすること。</p>	1 通
(2) 入学願書 (別紙様式第 1 号- 2)	<p>本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし、作成すること。(https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/examinee/) 氏名の“英語表記(in English)”の欄には、パスポートに記載されているアルファベット氏名を記入すること。</p> <p>自筆で署名又は押印すること。</p>	1 通
(3) 履歴書 (別紙様式第 2 号)	<p>本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。</p> <p>※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。</p>	1 通
(4) 学業成績証明書 (原本)	<p>出身大学の成績証明書</p> <p>出身大学院の成績証明書</p>	1 通 1 通
(5) 英語能力を証明する公式認定証の写し	<p>TOEFL, TOEIC 等の公式認定証等の写し</p> <p>(国費留学生等で事前に英語能力が確認されている場合は、そのことを示す文書に代えることが出来る)</p>	1 通

(6) 修士課程修了（見込）証明書又は最終学校の卒業証明書（原本）		1 通
(7) 修士論文等 (別紙様式第 3 号：表紙用)	ア．修士課程修了者 a 修士論文の写し（論文がない場合はこれに代わるもの）	1 通
	b 修士論文概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第3号）を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
	イ．修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書（図表を含み、和文の場合は 10,000 字程度、英文の場合は 6,000 語程度）	1 通
	b 研究経過概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第3号）を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
(8) 研究計画書 (別紙様式第 4 号：表紙用)	どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの（A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第4号）を表紙として付け提出すること。）	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
(9) 推薦書 (別紙様式第 5 号)	出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等が作成したものを出提出すること。	1 通
(10) 受験承諾書 (別紙様式第 6 号)	大学、官公庁、企業又は団体等に在職している者は、所属長の受験承諾書を提出すること。	1 通
(11) 住民票又はパスポートの写し	A 日本国に居住している外国人： (a)，(b) 両方を提出 (a) 市区町村の発行する在留資格が記載された住民票の写し (b) パスポートの写し B 上記 A 以外の外国人： パスポートの写し ない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書の写し。	1 通
(12) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第10号)	出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入したものを提出すること。	1 通
(13) 類型該当性の自己申告書 (様式1／別紙)	「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となる。申告書裏面の「類型該当性判断のフローチャート」に基づいて記入すること。	1 通

6. インターネット出願の流れ

10 ページ「6. インターネット出願の流れ」を参照すること。

7. 選抜の方法

面接の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

面接（対面）又はインターネット面接

原則として3人の研究科教員と対面形式の面接を行うが、事情によっては、出身大学等においてテレビ会議システムを使用したテレビ面接を行うか、電子メールによる質疑応答を行う。

※電子メールによる質疑応答の方法

- ・電子メールによる質疑応答は、最初に主指導教員予定者から入学志願者へ、入学願書に記入されたメールアドレスに対してメールにて連絡を行う。
- ・志望専攻等に所属する3人の教員により、各教員3回以上（合計9回以上）のメールの発信により実施する。

8. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

14 ページ「10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

9. 入学手続

15 ページ「11. 入学手続」を参照すること。

10. 授業料

15 ページ「12. 授業料」を参照すること。

11. 長期履修について

15 ページ「13. 長期履修について」を参照すること。

12. 注意事項

15 ページ「14. 注意事項」を参照すること。

13. 検定料の返還について

16 ページ「15. 検定料の返還について」を参照すること。

14. 個人情報の取扱いについて

16 ページ「16. 個人情報の取扱いについて」を参照すること。

英語特別プログラム入試

1. 英語特別プログラムの概要

英語特別プログラムは、農学系分野における研究者のリーダーを育成すべく、広く諸外国より優秀な留学生を受入れ、英語だけを用いて教育を実施する。本プログラムでは、通常のカリキュラムと同等以上の質の英語による講義を全専攻において行い、留学生は日本語を使うことなく修了に必要な単位を取得することができる。

なお、本プログラムにおいては、岐阜大学外国人留学生規程により入学試験の検定料、入学料及び3年分の授業料を不徴収とする。

2. 募集人員

専 攻	募 集 人 員
生 物 生 産 科 学	若干名
生 物 環 境 科 学	若干名
生 物 資 源 科 学	若干名

*英語特別プログラム入試は、第2次入試と併願可能である。

3. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は、2026年4月又は2026年10月である。ただし、出願時に2026年4月入学を希望した者が、2026年10月入学に変更したい場合、2026年2月27日（金）までに理由書を岐阜大学大学院連合農学研究科連合農学係に提出すること。

4. 出願資格

次の（１）～（４）のすべてを満たす者が受験できる。

- （１）修士の学位を授与された者及び2026年3月末日（2026年4月入学希望者）又は2026年9月末日（2026年10月入学希望者）までに授与される見込みの者
- （２）外国人留学生で、入学後3年以内に学位取得ができる優秀な者
- （３）出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等から推薦された者
- （４）英語能力試験において次のいずれかを満たしていること。
 - ① TOEFL iBT：72点以上
 - ② IELTS：5.5点以上

5. 出願手続

出願手続は、インターネット出願サイト（10 ページ参照）で出願登録を行った後、願書受付期間内に到着するように出願書類を提出する。出願期間内に到着した書類に不備が無く、かつ出願資格を有することが確認された時点で、出願手続きが完了する。

インターネット出願登録期間

2025 年 12 月 5 日（金）～ 12 月 19 日（金） 13:00 まで

願書受付期間

2025 年 12 月 5 日（金）～ 12 月 19 日（金）まで（必着）

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前 9 時から午後 4 時までとする。

インターネット出願サイトから宛名シートを印刷し、市販の角形 2 号の封筒（縦 33.2cm×横 24.0cm）に貼り付けて提出すること。

郵送の場合は、「簡易書留・速達」（海外在住の方は EMS, FedEx, DHL 等）とする。出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しない。

受験票の印刷

2026 年 1 月 14 日（水）以降にメールで通知する。

出願が受理された志願者は、インターネット出願登録サイトから受験票のダウンロードが可能になる。受験票を印刷して、試験当日に持参すること。

（注 1）インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではない。試験当日は受付番号での受験はできないため必ず受験票を持参すること。

（注 2）試験当日にスマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めない。

出願書類

(1) 岐阜大学大学院志願票	[インターネット出願サイトから出力されたものを、A4サイズで片面カラー印刷すること。] ※出願前 3 ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの顔写真データを用意し、インターネット出願サイトからアップロードすること。	1 通
(2) 入学願書 (別紙様式第 1 号・3)	本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし、作成すること。 https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/examinee/ 氏名の“英語表記(in English)”の欄には、パスポートに記載されているアルファベット氏名を記入すること。 自筆で署名又は押印すること。	1 通
(3) 履歴書 (別紙様式第 2 号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。	1 通
(4) 学業成績証明書 (原本)	出身大学の成績証明書 出身大学院の成績証明書	1 通 1 通

(5) 英語能力を証明する公式認定証の写し	以下のいずれかを提出すること。 ①TOEFL iBT: Official Score Reports 又は Test Taker Score Report ②IELTS: Test Report Form * Web ページに表示される速報などの画面コピーは不可。 * TOEFL iBT テストは Test Date スコアのみを活用します。 (MyBest スコアは活用しません。)	1 通
(6) 修士課程修了(見込)証明書又は最終学校の卒業証明書 (原本)		1 通
(7) 修士論文等 (別紙様式第3号: 表紙用)	ア. 修士課程修了者 a 修士論文の写し (論文がない場合はこれに代わるもの)	1 通
	b 修士論文概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
	イ. 修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書 (図表を含み、和文の場合は 10,000 字程度、英文の場合は 6,000 語程度)	1 通
	b 研究経過概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第3号)を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
(8) 研究計画書 (別紙様式第4号: 表紙用)	どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの (A4サイズ of 用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第4号)を表紙として付け提出すること。)	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
(9) 推薦書 (別紙様式第5号)	出身大学院における指導教員、官公庁、企業等の直接の指導者等が作成したものを提出すること。	1 通
(10) 受験承諾書 (別紙様式第6号)	大学、官公庁、企業又は団体等に在職している者は、所属長の受験承諾書を提出すること。	1 通
(11) 住民票又はパスポートの写し	A 日本国に居住している外国人: (a), (b) 両方を提出 (a) 市区町村の発行する在留資格が記載された住民票の写し (b) パスポートの写し B 上記A以外の外国人: パスポートの写し ない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書の写し。	1 通
(12) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第10号)	出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入したものを提出すること。	1 通
(13) 類型該当性の自己申告書 (様式1/別紙)	「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となる。申告書裏面の「類型該当性判断のフローチャート」に基づいて記入すること。	1 通

6. インターネット出願の流れ

10 ページ「6. インターネット出願の流れ」を参照すること。

7. 選抜の方法

口頭試問による学業検査の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

修士論文又は修士論文相当の論文の内容及び研究計画書を中心とした口頭試問を行う。〔内容説明 30 分（プロジェクター及びノートパソコン（Windows）使用可）、質疑応答 30 分程度〕

8. 試験の日時及び場所

	試験科目	時間	場所
2026 年 2 月 5 日（木）	口頭試問	別途指定された時間	岐阜大学大学院 連合農学研究科

9. 合格発表

2026 年 2 月 17 日（火）10:00

＊岐阜大学のホームページ（<https://www.gifu-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載する。

合格者はインターネット出願サイトより合格通知書を出力できる。

10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

14 ページ「10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

11. 入学手続

(1) 入学手続について

岐阜大学のホームページ（<https://www.gifu-u.ac.jp/>）上にて入学手続の詳細を掲載します。ホームページの案内に従い速やかに手続を進めること。詳しい日時については別途通知する。

(2) 入学辞退について

入学手続を所定の期日までに行わない者は、本学への入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなす。

(3) 入学に要する経費は、不徴収とする。

＊入学手続時には、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となる。

＊英語特別プログラム入試に不合格だが、第 2 次入試で合格して入学した学生は、入学料 282,000 円（予定額）が必要である。ただし、2026 年 3 月又は 2026 年 9 月に構成大学の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者は不要である。入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

1 2. 授業料

授業料（修了年限の3年間）は不徴収とする。

＊英語特別プログラム入試に不合格だが、第2次入試で合格して入学した学生は、授業料が必要である。（半期分）267,900 円（年額）535,800 円（予定額）。授業料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

1 3. 注意事項

- (1) 出願にあたっては、事前に入学を希望する教育研究分野の主指導教員予定者と相談すること。
- (2) 出願書類は、出願書類受理後、いかなる理由があっても返還しない。出願書類の記載事項の変更も認めない。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがある。

1 4. 検定料について

検定料は徴収しない。

＊英語特別プログラム入試と第2次入試を併願する者の検定料については、別途通知する。

1 5. 個人情報の取扱いについて

この出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、願書に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用し、その他の目的には利用しない。

**岐阜大学・インド工科
大学グワハティ校
国際連携食品科学技術専攻**

1. 募集人員

専 攻	募集人員	
国際連携食品科学技術	岐阜大学	インド工科大学グワハティ校
	1 人	1 人

2. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は、「2026 年 4 月」である。

3. 出願資格

岐阜大学大学院連合農学研究科学生募集要項 5 ページの「3. 出願資格」を参照すること。

4. 出願手続

岐阜大学大学院連合農学研究科学生募集要項 8 ページの「5. 出願手続 出願書類」を参照すること。
言語は英語とする。

出願手続は、インターネット出願サイト（10 ページ参照）で出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、願書受付期間内に到着するように出願書類を提出する。出願期間内に到着した書類に不備が無く、かつ出願資格を有することが確認された時点で、出願手続きが完了する。

インターネット出願登録及び検定料払込期間

第 1 次	2025 年 5 月 20 日（火） ～ 5 月 29 日（木） 13:00 まで
第 2 次	2025 年 12 月 5 日（金） ～ 12 月 19 日（金） 13:00 まで

検定料の支払い期限は、出願登録日を含め 4 日間（※）であり、支払期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的に取り消しとなる。出願登録が取り消しとなったときは再登録すること。

※払込締切日が 4 日以内より短い場合は、払込締切日が優先される。

海外在住者は、クレジットカードで払い込むこと。

検定料：30,000 円	<p>入学検定料のほかに支払手数料が必要となる。手数料の額は、支払手続き画面に表示される。</p> <p>※2026年3月に構成大学の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学を志願するものは不要である。</p> <p>上記※の者は、パスワードが必要になるため、出願前に問い合わせること。インターネット出願サイトの出願時に「検定料について」で「該当する」をチェックすること。</p> <p>なお、本来入学検定料を支払うべき者が、誤って「検定料について」において、「該当する」を選択し、入学検定料を支払わず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。</p> <div><p>大規模自然災害により被災した入学志願者に対して、検定料免除の特別措置を行う。詳細は岐阜大学ホームページ（https://www.gifu-u.ac.jp/）を参照すること。該当者は予め所定の期日までに所定の書類を提出すること。</p></div>
--------------	---

願書受付期間

第1次	2025年5月20日(火)～5月29日(木)まで(必着)
第2次	2025年12月5日(金)～12月19日(金)まで(必着)

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

インターネット出願サイトから宛名シートを印刷し、市販の角形2号の封筒(縦33.2cm×横24.0cm)に貼り付けて提出すること。郵送の場合は、「簡易書留・速達」(海外在住の方はEMS, FedEx, DHL等)とする。出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しない。

受験票の印刷

第1次	2025年6月11日(水)以降にメールで通知する。
第2次	2026年1月14日(水)以降にメールで通知する。

出願が受理された志願者は、インターネット出願登録サイトから受験票のダウンロードが可能になる。受験票を印刷して、試験当日に持参すること。

(注1) インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではない。試験当日は受付番号での受験はできないため必ず受験票を持参すること。

(注2) 試験当日にスマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めない。

5. インターネット出願の流れ

10ページ「6. インターネット出願の流れ」を参照すること。

6. 選抜の方法

本専攻では2段階の選抜試験の成績、学術成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行なう。

(1) 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻選抜試験

専門的知識及び本専攻における研究提案を中心とした口頭試問を両大学合同で行う。また、2国間での履修に問題が生じないか両大学合同で評価し選考する。なお、試験に使用する言語は英語とする。

(2) 連合農学研究科選抜試験(第1次入試、第2次入試)

国際連携食品科学技術専攻への出願は、生物資源科学専攻との併願とする。

岐阜大学大学院連合農学研究科で実施される第1次、あるいは第2次に、希望する主指導教員が所属する生物資源科学専攻の第1次入試または第2次入試を受験する。

第1希望：国際連携食品科学技術専攻(英語で記入)

第2希望：生物資源科学専攻

(3) 英語試験におけるスコアシートの提出

英語能力は、TOEFLまたはTOEICスコアによって判定する。判定の目安は以下のとおりである。

- ① TOEFL iBT : 80 点以上
- ② TOEIC Listening & Reading Test : 730 点以上
- ③ IELTS : 6 点以上

7. 試験の日時及び場所

試験	日時*	場所
国際連携食品科学技術専攻選抜試験	2026 年 1 月中*	別途指定された場所
連合農学研究科選抜試験	第 1 次 2025 年 7 月 7 日 (月)	岐阜大学大学院 連合農学研究科
	第 2 次 2026 年 2 月 5 日 (木)	

*詳しい日時については別途通知する。

8. 合格発表

2026 年 2 月 17 日(火) 10:00

*岐阜大学のホームページ(<https://www.gifu-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載する。

合格者はインターネット出願サイトより合格通知書を出力できる。

9. 指導教員等一覧

入学願書中の希望する教員名の記入に当たっては、岐阜大学より 1 名決定し記入してください。なお、インド工科大学グワハティ校の教員に関しては岐阜大学側の教員と相談のうえ、決定します。

10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

14 ページ「10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

11. 入学手続

(1) 入学手続について

岐阜大学のホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp/>) 上にて、入学手続の詳細を掲載する。ホームページの案内に従い速やかに手続を進めること。詳しい日時については別途通知する。

(2) 入学辞退について

入学手続を所定の期日までに行わない者は、本学への入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなす。

(3) 入学に要する経費

入学料 282,000 円 (予定額) は、不徴収とする。

*入学手続時には、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となる。

*入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

12. 授業料

授業料(半期分) 267,900 円 (年額 535,800 円) (予定額)

ただし 1 年前期については全員免除とする。また半期ごとに判定を行い、成績優秀者に関しては授業料を、修了年限 3 年を限度として免除する。

*授業料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

1 3. 注意事項

15 ページ「1 4. 注意事項」を参照すること。

1 4. 検定料の返還について

16 ページ「1 5. 検定料の返還について」を参照すること。

1 5. 個人情報の取扱いについて

16 ページ「1 6. 個人情報の取扱いについて」を参照すること。

【令和6年9月協定締結】

フランス・リール大学生物・健康科学専攻との共同指導学位プログラム

本学を主大学、リール大学を副大学として出願する場合は、一般入試の枠組みで入試を実施する。本学を副大学、リール大学を主大学として出願する場合は外国人特別入試の枠組みで入試を実施する。本学を主大学とする場合は原則日本人であること。

1. 対象分野：生命科学全般
2. 募集人員：若干名（一般入試、あるいは外国人特別入試の募集人員に含める）
3. 入学時期：4月、あるいは10月
4. 出願資格：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
5. 出願手続：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずるが、出願書類は英語で作成すること。同時期にリール大学への出願も必要である。「語学能力証明書の写し」は、原則として TOEFL iBT あるいは IELTS のスコアレポートに限る。それら以外は事前に相談すること。
6. 出願期間：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる。出願方法・時期も含めて、両大学間の調整が必要となるため、事前に（第1次入試の場合は前年度3月末まで、第2次入試の場合は9月末までに）研究科に相談すること。なお、調整が困難となった場合は本プログラムへの受け入れは出来ないため、出願に先立ち、学生が指導を希望する教員にコンタクトを取ることが必須である。
7. 選抜の方法：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずるが、語学能力については原則 CEFR B2 以上が必要である。口頭試問は面接者にリール大学教員を含めて実施する。
8. 試験の日時及び場所：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
9. 合格発表：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
11. 入学手続き：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
12. 授業料：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる。ただし、本学を副大学とする者は大学間協定により、入学料、授業料ともに免除される。
13. 長期履修について：本プログラムでは長期履修は認めない。
14. 注意事項：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる。ただし、出願に当たっては、事前に両大学における主指導教員予定者と相談すること。入学が認められた場合には、本プログラムに関する合意書を両大学と交わすことが必要となる。
15. 検定料について：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる。ただし、本学を副大学とする者は大学間協定により免除される。
16. 検定料の返還について：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
17. 個人情報の取り扱いについて：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる

1. プログラムの内容：国際連携を組む岐阜大学大学院連合農学研究科及びフランス・リール大学生物学・健康科学専攻の強みである生命科学に関する高度専門性と国際通用性を活かした研究教育基盤の下で、生命科学に関する共同指導の教育プログラムを構築し、農学を軸足とした同分野の進展に寄与するとともに、同分野の産業を牽引する高度専門人材の育成を目指す。

2. 教育上の特色：

- (1) 学生は、自己が本研究科教員の中から主指導教員 1 名、リール大学教員の中から共同主指導教員 1 名についての希望を申し出る。本研究科はこれを調整のうえ、学生の主指導教員、共同主指導教員及び研究を行う専門分野を決定する。
- (2) 指導教員は、学生 1 人につき主指導教員 1 名、共同主指導教員 1 名、副指導教員 1 名を充てる。従って、学生 1 人につき 3 人の教員が指導に当たる。
- (3) 学生は、主指導教員が専任として在職する構成国立大学法人に配置され、研究指導を受けるが他の構成国立大学法人の施設・設備も利用できる。
- (4) 学生は、本学と同時にフランス・リール大学にも在籍し、リール大学の学生としての権利を有する。
- (5) 在籍期間中に 1 年以上副大学に、在学期間の半分以上を主大学に滞在することが必須の要件となる。
- (6) フランス滞在中は一定の給与、あるいは奨学金が法律により必須となるため、日本学術振興会特別研究員、東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業奨学金、あるいは同等の奨学金／給与を獲得することがプログラム継続の要件となる。本研究科では本プログラムを希望する者の研究科内順位を上位にして関連機関に推薦する。なお、給与、あるいは奨学金の獲得が出来なかった場合や学生のプログラム継続が困難になった場合は、プログラムを離脱して、主大学の一般プログラムに変更する。
- (7) プログラム入学にあたり、学生と岐阜大学及びリール大学は、それぞれの権利と義務について確認し、合意書を作成する。

3. 修了要件・学位

本プログラムに 3 年以上在学した上、定める単位を修得し、岐阜大学及びリール大学が合同で実施する学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、岐阜大学から「博士（学術）」あるいは「博士（農学）」を授与し、リール大学から「PhD」を授与する。なお、入学時期により、両大学からの学位授与の時期は時間的ずれが生じることがある。

修了に必要な最低修得単位は、岐阜大学及びリール大学の修了要件を同時に満たすものとし、学生と岐阜大学及びリール大学が交わす合意書に明記する。

学位取得のための基礎論文は一般のプログラムと同様であるが、少なくとも 1 報は Web of Science のうち 1) Core Collection、あるいは 2) Current Contents Connect に掲載されていることが必須である。

【令和6年9月協定締結】

リトアニア・ヴィータウタス・マグヌス大学農業アカデミーとの共同指導学位プログラム

本学を主大学、ヴィータウタス・マグヌス大学（以降、VM 大学）を副大学として出願する場合は、一般入試の枠組みで入試を実施する。本学を副大学、VM 大学を主大学として出願する場合は外国人特別入試の枠組みで入試を実施する。本学を主大学とする場合は原則日本人であること。

1. 対象分野：農学全般
2. 募集人員：若干名（一般入試、あるいは外国人特別入試の募集人員に含める）
3. 入学時期：4 月、あるいは 10 月
4. 出願資格：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
5. 出願手続：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずるが、出願書類は英語で作成すること。同時期に VM 大学への出願も必要である。「語学能力証明書の写し」は、原則として TOEFL iBT あるいは IELTS のスコアレポートに限る。それら以外は事前に相談すること。
6. 出願期間：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる。出願方法・時期も含めて、両大学間の調整が必要となるため、事前に（第 1 次入試の場合は前年度 3 月末まで、第 2 次入試の場合は 9 月末までに）研究科に相談すること。なお、調整が困難な場合は本プログラムへの受け入れは出来ないため、出願に先立ち、学生が指導を希望する教員にコンタクトを取ることが必須である。
7. 選抜の方法：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずるが、語学能力については原則 CEFR B2 以上が必要である。口頭試問は面接者に VM 大学教員を含めて実施する。
8. 試験の日時及び場所：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
9. 合格発表：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
10. 障害等を有する入学志願者の事前相談について：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
11. 入学手続き：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
12. 授業料：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる。ただし、本学を副大学とする者は大学間協定により、入学料、授業料ともに免除される。
13. 長期履修について：本プログラムでは長期履修は認めない。
14. 注意事項：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる。ただし、出願に当たっては、事前に両大学における主指導教員予定者と相談すること。入学が認められた場合には、本プログラムに関する合意書を両大学と交わすことが必要となる。
15. 検定料について：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる。ただし、本学を副大学とする者は大学間協定により免除される。

- 1 6. 検定料の返還について：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる
- 1 7. 個人情報の取り扱いについて：一般入試、あるいは外国人特別入試に準ずる

1. プログラムの内容：国際連携を組む岐阜大学大学院連合農学研究科及びリトアニア・ヴィータウタス・マグヌス大学農業アカデミー（以降、VM 大学）の強みである農学に関わる高度専門性と国際通用性を活かした研究教育基盤の下で、植物科学、動物科学、食品科学、生態学および農業環境科学に関する共同指導の教育プログラムを構築し、同分野の進展に寄与するとともに、同分野の産業を牽引する高度専門人材の育成を目指す。

2. 教育上の特色：

- (1) 学生は、自己が本研究科教員の中から主指導教員 1 名、VM 大学教員の中から共同主指導教員 1 名についての希望を申し出る。本研究科はこれを調整のうえ、学生の主指導教員、共同主指導教員及び研究を行う専門分野を決定する。
- (2) 指導教員は、学生 1 人につき主指導教員 1 名、共同主指導教員 1 名、副指導教員 1 名を充てる。従って、学生 1 人につき 3 人の教員が指導に当たる。
- (3) 学生は、主指導教員が専任として在職する構成国立大学法人に配置され、研究指導を受けるが他の構成国立大学法人の施設・設備も利用できる。
- (4) 学生は、本学と同時に VM 大学にも在籍し、VM 大学の学生としての権利を有する。
（主大学及び副大学の選択と入学時期により VM 大学のみ在学する期間が生じる場合がある。）
- (5) 在籍期間中に 1 年以上副大学に、在学期間の半分以上を主大学に滞在することが必須の要件となる。
- (6) 本プログラムでは、日本学術振興会特別研究員、東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業奨学金、あるいは同等の奨学金／給与を獲得することが望まれる。本研究科では本プログラムを希望する者の研究科内順位を上位にして関連機関に推薦する。学生のプログラム継続が困難になった場合は、プログラムを離脱して、主大学の一般プログラムに変更する。
- (7) プログラム入学にあたり、学生と岐阜大学及び VM 大学は、それぞれの権利と義務について確認し、合意書を作成する。

3. 修了要件・学位

本学を主大学とする場合、本プログラムに 3 年以上在学した上、定める単位を修得し、岐阜大学及び VM 大学が合同で実施する学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、岐阜大学から「博士（学術）」あるいは「博士（農学）」を授与する。VM 大学の在学標準年限は 4 年であるため、原則として、標準年限に満たない場合は、岐阜大学の学位授与後も VM 大学の学籍を保持することで、1 年後、あるいは 1 年半後に VM 大学から「PhD」が授与される。ただし、VM 大学には短期修了の仕組みがあるため、条件に合致すれば、標準年限を待たずに「PhD」が授与される。

VM 大学を主大学とする場合は、VM 大学に先に入学し、2 年次より本プログラムに参加する。本プログラムに 3 年以上在学した上、定める単位を修得し、岐阜大学及び VM 大学が合同で実施する学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、岐阜大学から「博士（学術）」あるいは「博士（農学）」を、VM 大学から「PhD」を授与する。

修了に必要な最低修得単位は、岐阜大学及び VM 大学の修了要件を同時に満たすものとし、学生と岐阜大学及び VM 大学が交わす合意書に明記する。

学位取得のための基礎論文は少なくとも 2 報が Web of Science に掲載されている雑誌に掲載されていることが必須となる。（本研究科の規則に基づき、Web of Science のうち 1) Core Collection、あるいは 2) Current Contents Connect に掲載されていない雑誌の場合は、事前に審査が必要である。）また、本研究科が特別に基礎論文の掲載雑誌として認めている Reviews in Agricultural Science (RAS) は対象に含まれない。また、在学中に 2 回以上の国際会議（学会、シンポジウムなど）で発表することも必要である。

岐阜大学大学院連合農学研究科の概要

(後期 3 年のみの博士課程)

1. 設置の趣旨

静岡大学、岐阜大学及び信州大学の各大学の農学研究科^{*}が有機的に連合することによって、特徴のある教育・研究組織を編成し、生物生産、生物環境及び生物資源に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野をもった研究者及び専門技術者を養成し、農学の進歩と生物資源関連産業の発展に寄与し、さらに、農林畜水産分野の人材養成を切望する海外からの要請にも応えて、高度の学術・技術の修得を希望する外国人留学生を積極的に受入れ、諸外国における農学及び関連産業の発展にも寄与しようとするものである。本研究科の教育・研究組織は、中部地方の環境、立地など農学及び産業に関連する諸要因を考慮し、産学共同によって、中部地方の発展にも貢献するものである。

^{*}平成22年度からは、静岡大学及び岐阜大学の2大学による構成となる。

2. 専攻の内容

生物生産科学専攻

作物の肥培管理及び家畜の飼養管理、動植物の栄養、保護、遺伝育種、生産物の利用、農林畜産業の経営、経済及び物的流通に関する諸分野を総合し、第1次産業としての植物及び動物の生産から消費者への供給に至るまでの全過程に関する学理と技術に関する諸問題を教育・研究する。

生物環境科学専攻

生物生産の基礎となる農地及び林野を造成し、これを良好な状態に維持し、災害を防ぎ、荒廃から守ることは現時点においても長期的展望からもなおざりにできない重要課題である。特に、最近国際的にも種々の角度から論議されている地球規模の環境問題には、農業の領域に含まれるものが少なくないことには注目しなければならない。この分野には、無機的環境に関する諸問題を物理的及び化学的手法によって考究する側面と、その環境に生息する生物群集に関する諸問題を、生態学的しくみに基づいて解明する側面とがある。

生物資源科学専攻

動物、植物、微生物等の生物資源とその生産基盤である土壌について、その組織・構造・機能を物理化学、化学、生化学、生物学など多面的、総合的立場から解析することによって、生物資源並びに生命機能に関する学理を究め、さらに生物工学の基礎研究を行い、未利用資源を含めた生物資源の構造と機能の解明、より高度な加工・利用、新機能の創生及び廃棄物処理に関する原理と技術について教育・研究する。

国際連携食品科学技術専攻

国際連携を組む岐阜大学及び IITG の強みを活かした食品科学技術に関する独自の教育プログラムを構築し、食品科学技術に関する高度な専門性とデザイン思考を活用した研究能力を基盤として、日印両国の食品関連産業を牽引する高度専門職業人を指導できる研究開発人材を養成する。さらに、国際連携プログラムの特長を活かし、英語を共通言語としてコミュニケーションする力、国際性（異文化適応力と国際的協働力）及び産業を牽引する研究開発リーダーならびに教育リーダーとしての資質を育てる。

3. 教育上の特色

- (1) 学生は、構成国立大学法人に所属する教員の中から自己が主指導教員についての希望を申し出る。本研究科はこれを調整のうえ、学生の主指導教員及び研究を行う専門分野を決定する。
- (2) 指導教員は、学生1人につき主指導教員1人と副指導教員2人を充てる。従って、学生1人に3人の教員が指導に当たる。
- (3) 学生は、主指導教員が専任として在職する構成国立大学法人に配置され、研究指導を受けるが、他の構成国立大学法人の施設・設備も利用できる。

〔岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻〕

本専攻では、連携先大学に1年間留学することが必須の要件となる。

修学スケジュール

学期	1st	2nd	Break	3rd	4th	Break	1st	2nd	Break	3rd	4th	Break	1st	2nd	Break	3rd	4th	Break
開始月	4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月
岐阜大学 入学生	岐阜大学において履修と研究						IITGにおいて履修と研究						岐阜大学において履修と研究					
IITG 入学生	IITGにおいて履修と研究						岐阜大学において履修と研究						IITGにおいて履修と研究					

4. 修了要件・学位

本研究科に3年以上在学したうえ、定める単位を修得し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には「博士（農学）」又は「博士（学術）」の学位を授与する。ただし、特に優れた研究業績を上げた者の在学期間については、短縮されることがある。

修了に必要な最低修得単位数は、12単位とする。うち8単位は必修科目を受講し、残りの4単位を選択科目から修得する。

英語特別プログラム学生の修了に必要な最低修得単位数は、12単位とする。うち10単位は必修科目を受講し、残りの2単位を選択科目から修得する。

博士（学術）を希望する際は、入学時（履修登録まで）に理由を添えて申請を行う必要がある。その可否は、代議員会が審議し決定するものとする。

〔岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻〕

本研究科に3年以上在学したうえ、定める単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、岐阜大学とインド工科大学グワハティ校の連名による「博士（学術）」の学位を授与する。

修了に必要な最低修得単位数は、12単位とする。うち9単位は必修科目を受講し、残りの3単位を選択科目から修得する。

主指導教員となり得る者の教育研究分野・受験専門科目一覧

一覧は変更される場合があるので、連合農学研究科ホームページ(<https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/examinee/>)で最新情報を確認すること。

専攻	主指導教員 氏名（所属）	教育研究分野		受験専門科目
		名称	内 容	
生 物 生 産 科 学	山 田 邦 夫 (岐阜大学)	花 卉 園 芸 学	花卉園芸植物の品質および生産性向上に関する植物生理学的研究	花 卉 園 芸 学
	松 原 陽 一 (岐阜大学)	野 菜 園 芸 学	野菜に関する生物生理学的理論と、持続可能型・環境ストレス耐性型栽培への応用	野 菜 園 芸 学
	鈴 木 克 己 (静岡大学)	施設野菜園芸学	施設園芸での野菜の高品質安定生産に関する研究	施設野菜園芸学
	切 岩 祥 和 (静岡大学)	野 菜 園 芸 学	野菜栽培における環境ストレスの制御とその利用	野 菜 園 芸 学
	八 幡 昌 紀 (静岡大学)	果 樹 園 芸 学	果樹の結実生理および染色体工学的手法を用いた高品質果樹の開発	果 樹 園 芸 学
	松 本 和 浩 (静岡大学)	園 芸 イ ノ ベ ー シ ョ ン 学	園芸植物の高付加価値化に関する生理生態学的研究	園 芸 イ ノ ベ ー シ ョ ン 学
	中 塚 貴 司 (静岡大学)	花 卉 園 芸 学	花卉園芸形質の分子生物学研究	花卉園芸学および 植物分子生物学
	嶋 津 光 鑑 (岐阜大学)	植物環境制御学	植物生産に関する環境制御技術の開発および環境制御技術の植物科学研究への応用	植 物 生 産 工 学
	山 根 京 子 (岐阜大学)	植物遺伝育種学	植物の遺伝資源評価，保全，利用および進化に関する研究	植物遺伝育種学
	◎中 野 浩 平 (岐阜大学)	ポ ス ト ハ ー ベ ス ト 工 学	農産物の品質保持理論の構築と流通技術への応用	ポ ス ト ハ ー ベ ス ト 工 学
	加 藤 雅 也 (静岡大学)	収 穫 後 生 理 学	収穫後の園芸作物における生理学・生化学・分子生物学	収 穫 後 生 理 学
	李 侖 美 (岐阜大学)	農 業 経 済 学	地域農業経済と農業政策に関する理論的・実証的研究	農業経済政策学
	THAMMAWONG, Manasikan (岐阜大学)	ポ ス ト ハ ー ベ ス ト 生 理 学	食品の品質変化メカニズム解明と品質保持技術開発	ポ ス ト ハ ー ベ ス ト 生 理 学
	馬 剛 (静岡大学)	青 果 物 機 能 学	果実・野菜の栄養成分や機能性成分の蓄積機構に関する研究	園 芸 利 用 学
	(*) 葛 瑞 樹 (岐阜大学)	非 破 壊 計 測 学	分光分析法及びデータマイニングによる食品・青果物の品質推定法	非 破 壊 計 測 学
	楠 田 哲 士 (岐阜大学)	動物保全繁殖学	希少野生動物の繁殖生理生態と動物園学に関する教育研究	動 物 園 動 物 繁 殖 学
	笹 浪 知 宏 (静岡大学)	動 物 生 理 化 学	鳥類の卵膜形成および受精の分子機構に関する研究	動 物 生 理 学
	与 語 圭一郎 (静岡大学)	動物生殖生理学	哺乳動物の生殖科学と生殖細胞の形成・分化機構	生 殖 生 物 学
	岩 澤 淳☆ (岐阜大学)	動物内分泌化学	動物の内分泌と代謝に関する生化学的研究	動物内分泌化学
	松 村 秀 一 (岐阜大学)	動 物 遺 伝 学	動物の遺伝的多様性と進化に関する研究	動物分子遺伝学

(*) 客員教授であり、主な研究活動の場は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門(連携機関)である。

◎：国際連携食品科学技術専攻の指導資格も兼ねる。

☆：2026年4月入学までの受入れ。

専攻	主指導教員 氏名（所属）	教育研究分野		受験専門科目
		名称	内 容	
生 物 環 境 科 学	平 松 研 （岐阜大学）	環 境 水 理 学	農村地域の水環境整備と水域生態系保全に関する研究	環 境 水 理 学
	大 西 健 夫 （岐阜大学）	水 文 学	地球上の水・物質循環の機構および人間活動がそれに及ぼす影響の評価	水 文 学
	伊 藤 健 吾 （岐阜大学）	水 圏 環 境 学	水田における水環境の制御と水田生態系の保全	応 用 生 態 工 学
	西 村 眞 一 （岐阜大学）	農 業 造 構 学	農業水利構造物の安全性と有効利用に関する研究	農 業 造 構 学
	西 山 竜 朗 （岐阜大学）	農 業 施 設 工 学	農業用ダムの力学	農 業 施 設 工 学
	今 泉 文 寿 （静岡大学）	砂 防 工 学	山地における土砂と水の移動過程と流域管理	砂 防 工 学
	勝 田 長 貴 （岐阜大学）	地 球 環 境 シ ス テ ム 学	湖沼の水文調査と堆積物の分析を通じた環境システム変動特性の評価	地 球 環 境 シ ス テ ム 学
	吉 岡 有 美 （岐阜大学）	水 文 学	流域水循環の評価に関する研究	流 域 水 文 学
	松 井 勤 （岐阜大学）	作 物 学	持続可能な作物生産に関する研究	作 物 学
	向 井 貴 彦 （岐阜大学）	生 物 地 理 学	生物の地理的多様性の形成と維持機構および保全に関する研究	生 物 地 理 学
	田 上 陽 介 （静岡大学）	応 用 昆 虫 学	昆虫共生系を利用した害虫の生物防除技術開発	昆 虫 共 生 生 物 学
	笠 井 敦 （静岡大学）	生 物 的 防 除 学	害虫管理における種間相互作用に関する研究	生 物 的 防 除 学
	堀 池 徳 祐 （静岡大学）	分 子 進 化 学	ゲノム情報を用いた分子進化学研究	生 物 情 報 学
	◎須 賀 晴 久 （岐阜大学）	分子植物病理学	植物病原菌の進化、生態ならびに病原性機構に関する研究	分子植物病理学
	山 下 雅 幸☆ （静岡大学）	生 態 遺 伝 学	外来植物および雑草の侵入生態学的研究	侵 入 生 態 学
	稲 垣 栄 洋 （静岡大学）	農 業 生 態 学 ・ 雑 草 科 学	農村の生物多様性評価と雑草の生態的管理に関する研究	雑 草 学
	大 塚 俊 之 （岐阜大学）	生 態 系 生 態 学	生態系の炭素循環と炭素吸収能力に関する研究	陸 上 生 態 系 の 炭 素 循 環
	飯 尾 淳 弘 （静岡大学）	森 林 生 理 生 態	森林群落の光合成と蒸散の生理生態学的プロセスに関する研究	森 林 生 理 生 態 学
	魏 永 芬 （岐阜大学）	環 境 計 測 学	流域における物質動態の計測評価	環 境 計 測 学
	安 藤 正 規 （岐阜大学）	森 林 動 物 管 理 学	森林生態系における動植物の相互作用と保護管理に関する研究	森 林 動 物 管 理 学
	富 田 涼 都 （静岡大学）	環 境 社 会 学	環境と社会の持続的なガバナンスについての研究	環 境 社 会 学
	三 宅 崇 （岐阜大学）	進 化 生 態 学	動植物の種間相互作用とそれに伴う形質進化に関する研究	進 化 生 態 学
	斎 藤 琢 （岐阜大学）	生 物 環 境 物 理 学	陸域生態系における物質・熱循環に関する研究	生 物 環 境 物 理 学
	森 部 絢 嗣 （岐阜大学）	野 生 動 物 資 源 学	野生動物の保全と資源利用に関する研究	野 生 動 物 資 源 学
	広 田 勲 （岐阜大学）	地 域 資 源 生 態 学	東南アジアおよび日本における植物資源利用と生業システムに関する研究	地 域 資 源 生 態 学
	岡 本 朋 子 （岐阜大学）	化 学 生 態 学	生物間相互作用を介在する化学物質の生態的役割に関する研究	化 学 生 態 学
	玉 木 一 郎 （岐阜大学）	森 林 生 態 遺 伝 学	森林樹木や植物に関する生態遺伝学的研究	森 林 生 態 遺 伝 学
	(***) 飯 島 勇 人 （岐阜大学）	個 体 群 生 態 学	生物の個体数の増減やその機構を明らかにするための研究	個 体 群 生 態 学

◎：国際連携食品科学技術専攻の指導資格も兼ねる。

(***) 客員准教授であり、主な研究活動の場合は国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所（連携機関）である。

☆：2026年4月入学までの受入れ。

専攻	主指導教員 氏名（所属）	教育研究分野		受験専門科目
		名称	内 容	
生 物 資 源 科 学	小 島 陽 一 （静岡大学）	木 質 バ イ オ マ ス 科 学	木質バイオマス資源の有効活用に関する研究	木 質 バ イ オ マ ス 科 学
	岩 本 悟 志 （岐阜大学）	食 品 物 性 工 学	食品分散系の相変化・形態変化を利用した食品の高付加価値化に関する研究	食 品 コ ロ イ ド 科 学
	◎西 津 貴 久 （岐阜大学）	食 品 加 工 学	食品製造プロセスの工学的解析，食品物性，食品化学に関わる基礎的研究	食 品 加 工 学
	◎勝 野 那 嘉 子 （岐阜大学）	食 成 分 化 学	食に関する成分の化学的および生化学的変化に関する研究	食 成 分 化 学
	◎矢 部 富 雄 （岐阜大学）	糖 質 生 化 学	糖鎖構造と機能に関する研究	糖 鎖 生 物 学
	◎柳 瀬 笑 子 （岐阜大学）	生 物 有 機 化 学	ポリフェノール類の単離構造決定とその化学反応性に関する研究	生 物 有 機 化 学
	◎鈴 木 史 朗 （岐阜大学）	バ イ オ マ ス 材 料 化 学	バイオマスの化学的構造，形成および利用に関する研究	バ イ オ マ ス 材 料 化 学
	小 堀 光 （静岡大学）	木 質 バ イ オ マ ス 科 学	木質バイオマスの有効利用およびそれらの非破壊評価手法に関する研究	木 質 材 料 利 用 学
	◎山 内 恒 生 （岐阜大学）	天 然 物 機 能 化 学	天然由来有効成分の探索と生物活性メカニズムの解明	天 然 物 機 能 化 学
	◎今 泉 鉄 平 （岐阜大学）	農 産 食 品 プ ロ セ ス 工 学	農産物組織状態の解析と制御技術に関する研究	農 産 食 品 プ ロ セ ス 工 学
	(*) 安 藤 泰 雅 （岐阜大学）	農 産 食 品 加 工 学	農産食品の組織構造解析と加工プロセスの高度化に関する研究	農 産 食 品 加 工 学
	安 藤 弘 宗 （岐阜大学）	糖 鎖 関 連 化 学	糖鎖関連分子の化学合成と機能解明および医薬への応用	糖 鎖 創 製 応 用 化 学
	◎今 村 彰 宏 （岐阜大学）	応 用 糖 質 化 学	生理活性複合糖質および高機能化糖関連分子の有機化学的創製と応用研究	応 用 糖 質 化 学
	◎上 野 義 仁☆ （岐阜大学）	核 酸 化 学	機能的核酸の化学合成と工学及び医学的応用	遺 伝 子 有 機 化 学
	鈴 木 健 一 （岐阜大学）	細 胞 生 物 物 理 学	1分子観察による細胞膜構造と分子情報伝達機構の研究	細 胞 生 物 物 理 学
	田 中 秀 則 （岐阜大学）	糖 質 有 機 化 学	糖質の高機能化と機能制御のための有機合成化学研究	糖 質 有 機 化 学

(*) 客員准教授であり、主な研究活動の場は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門（連携機関）である。

(**) 客員教授であり、主な研究活動の場は国立研究開発法人産業技術総合研究所（連携機関）である。

◎：国際連携食品科学技術専攻の指導資格も兼ねる。

☆：2026年4月入学までの受入れ。

専攻	主指導教員 氏名（所属）	教育研究分野		受験専門科目
		名称	内 容	
生 物 資 源 科 学	中 川 寅 (岐阜大学)	応 用 生 化 学	酵素・タンパク質の生化学・分子細胞生物学、並びにその応用	応 用 生 化 学
	中 村 浩 平 (岐阜大学)	微 生 物 分 子 生 態 学	嫌気性微生物の生態とその応用	微 生 物 分 子 生 態 学
	◎清 水 将 文 (岐阜大学)	植 物 病 理 学	有用微生物を利用した植物病害の生物防除および植物生長の制御	植 物 病 理 学
	◎中 川 智 行 (岐阜大学)	食 品 栄 養 学	酵母の分子育種と細胞機能の解明、新規食品産業用酵素の開発	食 品 微 生 物 学
	◎島 田 昌 也 (岐阜大学)	分 子 栄 養 学	栄養素や食品成分による代謝性疾患（脂肪肝，糖尿病など）の制御	分 子 栄 養 学
	◎海老原 章 郎 (岐阜大学)	酵 素 科 学	酵素の構造と機能に関する研究	酵 素 科 学
	木 塚 康 彦 (岐阜大学)	糖 鎖 生 化 学	糖鎖の生理機能と疾患関連性の解明のための生化学的研究	糖 鎖 生 化 学
	一 家 崇 志 (静岡大学)	植物栄養生理学	非生物のストレス耐性機構に関する植物栄養学的研究	植物栄養生理学
	◎山 本 義 治 (岐阜大学)	植物ゲノム科学	植物の環境適応機構とその進化	植物ゲノム科学
	◎小 林 佑 理 子 (岐阜大学)	植物分子栄養学	植物の栄養環境・有害元素に対する応答・耐性の分子機構	植物分子栄養学
	西 村 直 道 (静岡大学)	食 品 栄 養 化 学	食による大腸発酵環境の変動を介した宿主生理応答の解明	食 品 栄 養 化 学
	北 口 公 司 (岐阜大学)	食 品 免 疫 学	食品成分による免疫調節機構に関する研究	食 品 免 疫 学
	藤 田 盛 久 (岐阜大学)	シ ス テ ム 糖 鎖 生 物 学	糖鎖・糖タンパク質の生合成、輸送および分解機構の解明と制御	シ ス テ ム 糖 鎖 生 物 学
	橋 本 将 典 (静岡大学)	植物圏微生物学	植物圏に生息する微生物叢の形成と機能に関する研究	植物圏微生物学
	◎谷 元 洋 (岐阜大学)	ゲノム微生物学	酵母の分子遺伝学および生化学を基盤とした生体膜スフィンゴ脂質の構造と生理機能に関する研究	ゲノム微生物学
	島 田 敦 広 (岐阜大学)	酵 素 科 学	呼吸鎖タンパク質をはじめとした酵素の、構造に基づいた反応機能解明	構 造 生 物 学
	中 嶋 和 紀 (岐阜大学)	糖 鎖 分 析 化 学	糖鎖の生理機能と代謝関連を解明するための糖鎖分析技術の高度化研究	糖 鎖 分 析 化 学
	(**) 堀 江 祐 範 (岐阜大学)	微 生 物 機 能 制 御	乳酸菌の環境及び生物との相互作用の解明と利用	食 品 微 生 物 科 学
	(**) 千 葉 靖 典 (岐阜大学)	微 生 物 糖 科 学	微生物を活用した物質と糖タンパク質の生産に関する研究	微 生 物 糖 科 学
	(**) 舘 野 浩 章 (岐阜大学)	糖 鎖 工 学	糖鎖工学・レクチン工学に関する研究	糖 鎖 工 学

(**) 客員教授であり、主な研究活動の場は国立研究開発法人産業技術総合研究所（連携機関）である。

◎：国際連携食品科学技術専攻の指導資格も兼ねる。

UGSAS, GU Admission Policy

The United Graduate School provides unique educational programs with a wide variety of subjects under the credit-based system and doctoral dissertation research guidance by multiple supervisors through the synergistic linkage mainly between the Graduate School of Integrated Science and Technology, Shizuoka University and the Graduate School of Natural Science and Technology, Gifu University.

The principles of agricultural science are: in an ecological system called Earth, to preserve environment; to develop comprehensive scientific technologies and cultures based on the production of foods and biological materials; and to contribute to the existence and welfare of mankind. Agricultural science is an integrated science based on the relationship between biological production, which is essential to human life, and human society, consisting mainly of biological science, biological resources science, environmental science, life science and social science. (in Charter of Agricultural Science, Japan, 2002)

The Graduate School aims to cultivate researchers and professional engineers/technologists with highly professional ability, abundant academic knowledge and a broad perspective of science related to Biological (animals, plants, and microbial products) Resources, Biological Environment and Biological Resources, and thereby to contribute to the advancement of agricultural science and development of biological-resources-related industries. The Graduate School provides education to allow students to acquire extensive knowledge of agricultural science and to conduct a research on a given subject and seek a solution, and furthermore to develop the ability to solve problems and the ability to discover research subjects that can be exercised in the boundary fields and multidisciplinary fields. The Graduate School also welcomes overseas applicants who are willing to learn and acquire advanced agricultural technologies and science.

Students the UGSAS, GU seeks:

1. Individuals who are willing to understand the integrate nature of agricultural science based on the existence of mankind and to contribute to the local community and society.
2. Individuals who are willing to set research subjects on their own and to challenge such research subjects.
3. Individuals who are willing to absorb not only professional knowledge but also a wide range of knowledge.
4. Individuals who have strong ethics and are able to exercise their leadership skills in the agricultural science and other relevant fields.
5. Individuals who are willing to play an active role on the global stage and have necessary basic ability.

Admission policy of each course

Science of Biological Production

Candidates should have an interest in and a desire for societally-demanded research in scientific principles and technologies uniting issues in soil fertility management for crops and nutritional management of livestock; animal and plant protection, breeding and genetics, and product use; and management, economics, and physical distribution in agricultural, forestry, and livestock industries, in all processes of these primary industries leading from plant and animal production and processing to delivery to the consumer.

Science of Biological Environment

Candidates should have an interest in the use of ecological, biological, physical, and chemistry-based techniques to investigate scientific principles in issues affecting the environment and organisms at a global level, and natural environment-related issues grounded in biological production in agricultural, forestry, and other related industries.

Candidates should also have a strong desire to contribute to society through research of scientific principles and technologies relating to sustainable management of bioresources and environmental conservation of forest ecosystems and cultivated ecosystems.

Science of Biological Resources

Candidates should have a desire to investigate basic scientific principles concerning biological resources and life functions by analyzing the organization, structure, and function of animal, plant, microbial, and other bioresources and soil, the base of their production, from an interdisciplinary and integrated perspective including physical chemistry, organic chemistry, biochemistry, and molecular and cellular biology. Candidates should also have a desire to master technologies and understand principles relating to advanced utilization of bioresources, including unutilized resources; discovery of new functional materials; and application in environmental improvement.

International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology

Prospective candidates should have a desire to acquire the fundamental knowledge and the advanced skills in food science and technology in a global learning environment. They should also possess a desire to contribute to identifying solutions for society in food and related industries in India as well as Japan.

Admissions Overview

《The Third Admission》 (Refer to Page 50 – 64 for the details)

- Those who have a Master's degree / are expected to complete a Master's Course, or those who are awarded a degree equivalent or superior to a Master's degree are eligible to apply.
- The entrance exam (Language ability and Interview) is conducted for this admission.

Submit language proficiency test scores.

(Language proficiency will be judged by one of the following tests taken after April 2021.)

[English] ① Score report of TOEFL iBT ② Score report of TOEFL ITP

③ A copy of the official certificate or Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading Test

④ Score report of TOEIC L&R IP ⑤ Transcript issued by IELTS

[Japanese] ※Japanese nationals are invalid.

① Transcript of JLPT

《The First / The Second Admission》 (Refer to Page 50 – 64 for the details)

- Those who have a Master's degree / are expected to complete a Master's Course, or those who are awarded a degree equivalent or superior to a Master's degree are eligible to apply.
- The entrance exam (Language ability and Interview) is conducted for this admission.

Submit language proficiency test scores.

(Language proficiency will be judged by one of the following tests taken after April 2022.)

[English] ① Score report of TOEFL iBT ② Score report of TOEFL ITP

③ A copy of the official certificate or Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading Test

④ Score report of TOEIC L&R IP ⑤ Transcript issued by IELTS

[Japanese] ※Japanese nationals are invalid.

① Transcript of JLPT

《Special Admission for International Students》 (Refer to Page 65 – 70 for the details)

- Those who have / are expected to be conferred a Master's degree, and are proficient in English are eligible to apply.
- The entrance exam (Interview) for this admission is conducted in June.
However, applicants who fall into any of the following categories are eligible to take the exam throughout a year.
 - a. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at the member universities of the consortium (see P.67–68)
 - b. Those who are teaching at the member universities of the consortium (see P. 67–68)
 - c. Those who are specially accredited by UGSAS, GU

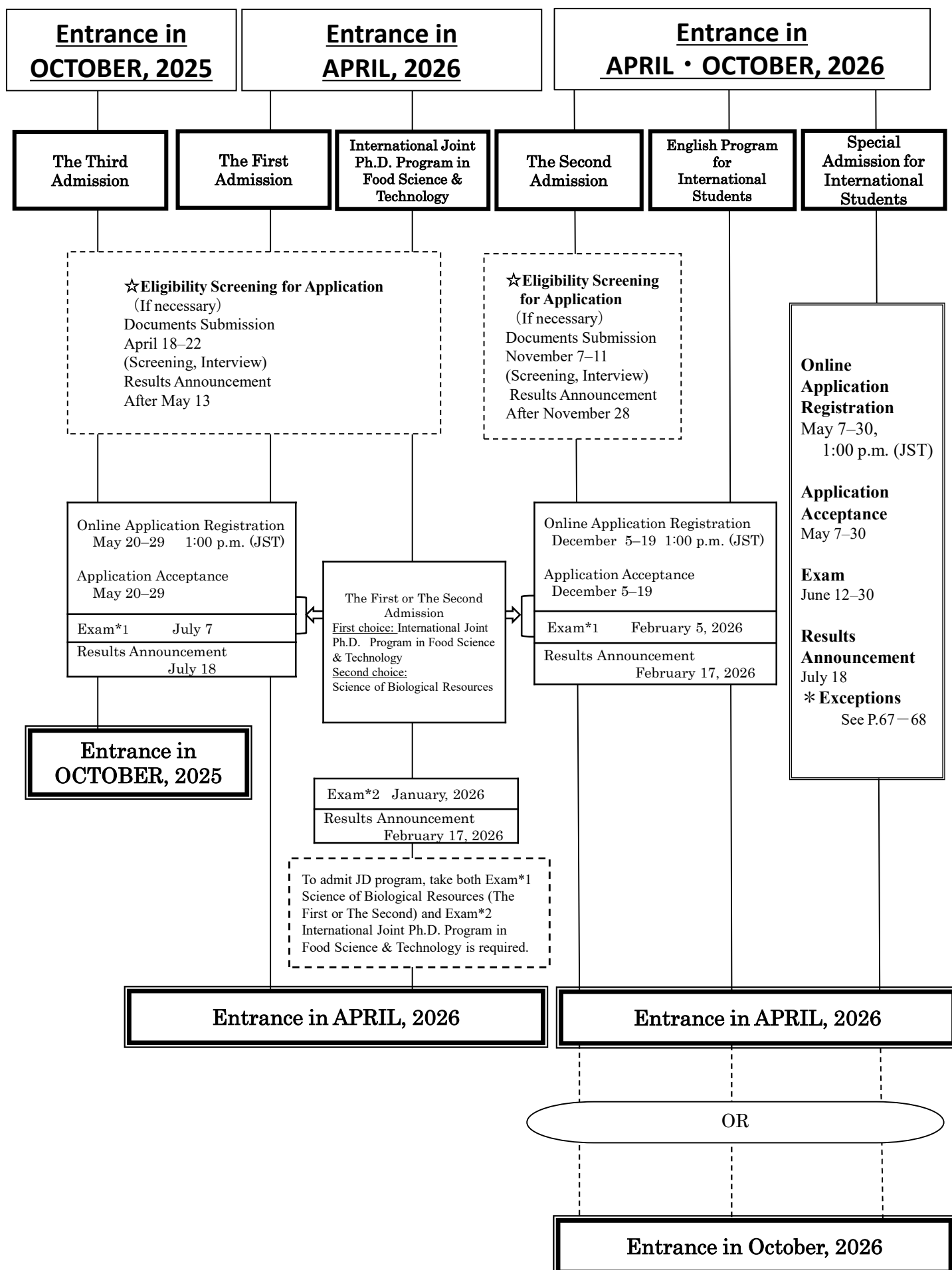
《English Program for International Students》 (Refer to Page 71 – 76 for the details)

- Applicants should meet all of the following qualifications.
 - a. Applicants who have been conferred a Master's degree or who are expected to be conferred a Master's degree.
 - b. Applicants should be academically outstanding international students with the ability to obtain a doctorate within three years of enrollment in the program.
 - c. Applicants should be recommended by direct supervisors such as academic supervisors at their graduate school, directors at government agencies or private companies.
 - d. Applicants should meet at least one of the following requirements to show English proficiency.
 - ① TOEFL iBT: 72 points or more
 - ② IELTS: 5.5 points or more
- The entrance exam (Interview) for this admission is conducted in February.

《International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology》 (Refer to Page 77 – 81 for the details)

Selection will be conducted in two-stages based on the results of the applicant's oral examination, transcripts, and other supporting materials.

- (1) Examination in international joint Ph.D. program in food science & technology
Fundamental knowledge in the target academic area in which the applicant wishes to study, research plan, master's thesis, etc., and competency in the English language.
- (2) Examination for the Science of Biological Resources Course, United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University
Take one of the following examinations:
 - The First Admission
 - The Second AdmissionApplicants who wish to enter the International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology are to apply concurrently for the Science of Biological Resources Course, in which the desired academic supervisor belongs to. Entrance examinations will be conducted in July (1st Admission) or February (2nd Admission).
- (3) English language qualification
You will need to demonstrate competency in English by submitting a test score from one of the following recognized English language qualification, such as:
 - ① TOEFL iBT: 80 points or more
 - ② TOEIC Listening & Reading Test: 730 points or more
 - ③ IELTS: 6 points or more



2025 The Third Admission

2026 The First / The Second Admission

1. Number of Students to be Admitted

Course	Admission Quota
Science of Biological Production	7
Science of Biological Environment	5
Science of Biological Resources	6
International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology	2
Total	20

The table above shows the total number of all four types of admissions for the academic year:

- The First / The Second / The Third Admission,
- Special Admission for International Students,
- English Program for International Students,
- International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology

2. Dates of Entrance

- The Third Admission: October 2025
- The First Admission: April 2026
- The Second Admission: April or October 2026

Applicants who wish to change their desired entrance date from April 2026 to October 2026 after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Friday, February 27, 2026.

3. Qualifications for Application

Any one of the following qualifications is necessary for admission:

- (1) Those who have a Master's degree or those who are expected to complete a Master's Course by September 30, 2025 (for entrance in October, 2025), March 31, 2026 (for entrance in April, 2026) or September 30, 2026 (for entrance in October, 2026).
- (2) Those who have received a degree equivalent or superior to a Master's degree from an overseas educational institution or who are expected to receive such a degree.
- (3) Those who are awarded a degree equivalent or superior to a Master's degree after completing a correspondence or an online course of a foreign school in Japan or who are expected to receive such a degree.
- (4) Those who have received a degree equivalent to Master's degree or professional graduate degree by completing required education designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science & Technology at educational institutes in Japan with a foreign graduate course education system or who are expected to receive such a degree.
- (5) Those who have completed a program at the United Nations University and have received a degree equivalent to Master's degree or who are expected to receive such a degree.
- (6) Those who have completed an education course at a foreign school (at educational institutions that have been designated as qualifying for admission) and those who attended the institution designated under qualification (4) above or the United Nations University and passed an examination that is equivalent to the Examination of Doctoral Thesis Study Basic Ability, or those who are expected to pass the examination and are recognized as having academic ability that is considered equal to or greater than that of an applicant who holds a Master's degree shall be deemed qualified.

(Examination of Doctoral Thesis Study Basic Ability)

i) Examination to substantiate the applicant's advanced professional knowledge and ability in the major subject and basic knowledge in fields that are related to the major subject, which the candidate has learned or intends to develop in the Master's course.

ii) Examination to substantiate the applicant's ability to autonomously conduct research related to the doctoral thesis and to that which will be learned in the Master's course.

(7) Those who are engaged in research for 2 years or more after completing their undergraduate course in Japan or a 16-year course of school education in a foreign country, and have academic capability equivalent or superior to the Master's degree are eligible to apply for the doctoral course. The qualifications will be examined by the Board of Representatives. [Notification No.118 by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, 1989. (Partially amended on March 30, 2001)] The candidates who apply under this category are advised to contact the office of the United Graduate School of Agricultural Science.

(8) Those who are above 24 years of age and have a Master's or a higher degree. Applicants are required to satisfy an application qualification examination performed by UGSAS, GU.

4. Eligibility Screening

Accreditation of the applicant who qualifies for (7) of section 3 on the previous page is based on the submission of the following documents and oral examination, etc., if necessary. The validity period of accredited eligibility is 3 years, including the year accredited. If applying during the validity period, it is not necessary to undergo the "Eligibility Screening" by submitting a copy of "Notification of accreditation for application eligibility".

<Documents to be submitted>

(1) Certified application form for the entrance examination ① (Form No. 7)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) Signature in handwriting or seal is required on it. Use Form No.7.	1 original
(2) Curriculum vitae (Form No. 2)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) *International students should fill from elementary education.	1 original
(3) Research history certificate (Form No. 8)	Certificates should be completed and submitted by the director/CEO of each research laboratory or department, such as government and municipal offices and enterprises, where applicants have done their research work. Use Form No. 8. Download the form from website of UGSAS, GU (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/).	1 original
(4) Graduation certificate	Submit a certificate from the last school attended with the university president's signature.	1 original
(5) Research achievements form (Form No. 9: cover)	Write in about 2,000 characters in the case of Japanese, or about 1,200 words in the case of English. Use form No. 9 as a cover.	10 (1 original, 9 photocopies)
(6) Supplementary materials to show past research results and achievements	Supplementary materials such as books, scientific theses, scientific reports, scientific lectures, patents.	1 original

4-2) Eligibility Screening

Accreditation of the applicant who qualifies for (8) of section 3 on the previous page is based on an oral examination that focuses on the following documents and currently research content, etc.

<Documents to be submitted>

(1) Certified application form for the entrance examination ② (Form No. 7-2)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) Signature in handwriting or seal is required on it. Use Form No.7-2.	1 original
(2) Curriculum vitae (Form No. 2)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) *International students should fill from elementary education.	1 original
(3) Research history certificate (Form No. 8)	Certificates should be completed and submitted by the director/CEO of each research laboratory or department, such as government and municipal offices and enterprises, where applicants have done their research work. Use Form No. 8. Download the form from website of UGSAS, GU (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/).	1 original
(4) Graduation certificate	Submit a certificate from the last school attended with the university president's signature.	1 original
(5) Research achievements form (Form No. 9: cover)	Write in about 2,000 characters in the case of Japanese, or about 1,200 words in the case of English. Use Form No. 9 as a cover.	10 (1 original, 9 photocopies)
(6) Supplementary materials to show past research results and achievements	Supplementary materials such as books, scientific theses, scientific reports, scientific lectures, patents.	1 original

4-3) Submission Period

The Third / The First Admission	No later than Friday, April 18, 2025 to Tuesday, April 22, 2025
The Second Admission	No later than Friday, November 7, 2025 to Tuesday, November 11, 2025

The application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9 a.m. to 4 p.m. (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kan-i kakitome sokutatsu*). Print the address sheet from the Online Application Website and paste it on a *kakugata 2* envelope (33.2 cm (H) x 24.0 cm (W)). Applicants residing overseas should send them by EMS, FedEx, DHL, etc. Applications arrived after the submission period will not be accepted for any reason.

4-4) Announcement of Results

The Third / The First Admission	The result will be notified by email after Tuesday, May 13, 2025.
The Second Admission	The result will be notified by email after Friday, November 28, 2025.

5. Application Procedure

Applicants should register and pay the entrance examination fee on the Online Application Website (see page 58), download and print the documents, and send all the required documents so that they arrive within the application reception period. The application will be completed when it is confirmed that all documents have been received within the acceptance period and are not defective, and the applicant is eligible to apply.

The Period of Online Application Registration and Payment of Entrance Examination Fee

The Third / The First Admission	Tuesday, May 20, 2025 to Thursday, May 29, 2025, 1:00 p.m. (JST)
The Second Admission	Friday, December 5, 2025 to Friday, December 19, 2025, 1:00 p.m. (JST)

Make the payment of the exam fee within four days* including the date of application registration. If it is not paid within four days, the application registration will be automatically canceled. If it is automatically canceled, register again.

*If the payment deadline is earlier than the fourth day including registration, the payment deadline will take precedence.

Overseas applicants must pay by credit card.

Examination fee: 30,000 yen	<p>A payment fee will be required in addition to the examination fee. The amount of the payment fee will be shown on the website during payment process.</p> <p>*An examination fee is not necessary for those who will complete any of the master's courses of Gifu University or Shizuoka University at the time shown below and wish to continue a post graduate course at the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University.</p> <ul style="list-style-type: none"> -The Third Admission: in September 2025 -The First Admission: in March 2026 -The Second Admission: in March or September 2026 <p>*Foreign students who receive Japanese Government Scholarship do not need to pay the examination fee. However, they are required to submit a Certificate of Japanese Government Scholarship Student.</p> <p>Applicants who meet the conditions described above* must check "Applicable" under "About the examination fee" when applying on the Online Application Website. A password is required to go through this procedure. Please inquire before application.</p> <p>Please note that the application documents will not be accepted if the applicant, who should have paid the examination fee, mistakenly selects "Applicable" in the "About the examination fee" section and submits the application without paying the examination fee.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>As a special measure, Gifu University will waive the examination fee for applicants who have been affected by a major natural disaster. Please refer to the Gifu University website (https://www.gifu-u.ac.jp) for details. Those who are eligible must submit the required documents by the designated date.</p> </div>
-----------------------------	--

Period of Application Acceptance

The Third / The First Admission	No later than Tuesday, May 13, 2025 to Thursday, May 29, 2025
The Second Admission	No later than Friday, December 5, 2025 to Friday, December 19, 2025

Application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9 a.m. to 4 p.m. (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kan-i kakitome sokutatsu*).

Applicants residing overseas should send them by EMS, FedEx, DHL, etc. Applications arrived after the acceptance period will not be accepted for any reason.

Print of the Examinee's Registration Card

The Third / The First Admission	Notified by email after Wednesday, June 11, 2025
The Second Admission	Notified by email after Wednesday, January 14, 2026

After application is confirmed by the university, the Examinee's Registration Card can be downloaded from the Online Application Website. Please make sure to print it out (on A4 paper) and bring it with you on the day of the exam.

NOTE 1: The Receipt Number issued at the moment of online registration is not the Examinee's Number. The Receipt Number will not be accepted on the day of the exam. Be sure to bring your Examinee's Registration Card.

NOTE 2: The Examinee's Registration Card displayed on a smartphone or other devices will not be accepted on the day of the exam.

<Documents to be submitted for Application>

(1) Gifu University Graduate School Application form	Download them from the Online Application Website and print in A4, in color and on one side. *Prior to application, prepare and upload a photo data of the applicant's upper body, hatless, front facing, taken within 3 months from the Online Application Website.	1 original
(2) Application for Admission (Form No. 1)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) In the "in English" field of "Name", enter the alphabetical name as it appears on your passport. Signature in handwriting or seal is required on it. Applicants for International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology should fill out Form No. 1-4.	1 original
(3) Curriculum vitae (Form No. 2)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) *International students should fill from elementary education. (Not necessary for those who apply for the accreditation for application eligibility.)	1 original
(4) Academic record	Official transcripts from the (a) university and (b) graduate school the applicant graduated from (issued by the university the applicant graduated from).	(a) 1 original (b) 1 original
	Only if applicable: An academic record issued by your junior college or other educational institutions or schools	1 original (Only if applicable)
(5) Language proficiency test scores	[The Third Admission] The score of one of the following tests taken after April 2021. [The First / The Second Admission] The score of one of the following tests taken after April 2022. [English] (a) Score report of TOEFL iBT (b) Score report of TOEFL ITP (c) A copy of the official certificate or Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading Test (d) Score report of TOEIC L&R IP (e) Transcript issued by IELTS *Any unofficial certificates such as "Prediction Test" are not acceptable. [Japanese] ※Japanese nationals are invalid. (a) Transcript of JLPT	1 copy

(6) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master's Degree	Issued by the university authority. Applicants with qualification (6) are required to submit a document showing they have passed the Qualification Examination or equivalent.		1 original
(7) Thesis for a Master's Degree, etc. (Form No. 3: Cover sheet)	A. Those who hold a Master's degree	(a) A copy of the Master's thesis or an equivalent document	1 copy
		(b) Summary of Master's thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
	B. Those who are expected to complete a Master's Course	(a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams)	1 copy
		(b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
	C. Those who qualify for (7) or (8) of Section 3	(a) Thesis for a degree equivalent to a Master's degree	1 copy
		(b) Summary of thesis for a degree equivalent to a Master's degree The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
(8) Statement of Research Plan (Form No. 4: Cover sheet)	Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 4 as a cover.		5 copies (1 original, 4 copies)
(9) Letter of Recommendation (Form No. 5)	Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school, your direct director at the government agencies or private companies. Use Form No. 5.		1 original
(10) Letter of Consent for Application (Form No. 6)	If you work at the University, government agencies or private companies, submit a letter of consent for application written by the director of your company or public office. Use Form No. 6.		1 original
(11) Notification of accreditation for application eligibility	If you got accredited in 2023 or 2024 and are applying this year, submit a copy of "Notification of accreditation for application eligibility".		1 copy (Only if applicable)
(12) Resident Record or Passport copy	A: International applicants who have already resided in Japan should submit (a) and (b) (a) Copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant's status of residence is stated. (b) Copy of Passport B: Other international applicants Copy of Passport. If you don't have a passport, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document.		1 photocopy
(13) Prospective Academic Supervisors (Form No. 10)	Applicants must request that the primary academic supervisor they wish to be advised by at UGSAS, GU complete this form. Use Form No. 10.		1 original

(14) Declaration of applicable specific categories / Flowchart for Determining Applicable Categories (様式1／Attachment)	In accordance with the clarification of the scope of control for “deemed exports” under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (“FEFTA”), some provision of sensitive technology to students by universities and research institutions has become subject to control under the FEFTA.	1 original
--	---	------------

6. Online Application Procedure

Refer to Page 58.

7. Method of Selection of Applicants

Selection will be made by the results of oral examinations, transcripts, and other material of the applicant.

① Language ability

Submit language proficiency test scores.

[The Third Admission] Judged by one of the following tests taken after April 2021.

[The First / The Second Admission] Judged by one of the following tests taken after April 2022.

[English]

(a) Score report of TOEFL iBT

(b) Score report of TOEFL ITP

(c) A copy of the official certificate or Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading Test

(d) Score report of TOEIC L&R IP

(e) Transcript issued by IELTS

[Japanese] ※Japanese nationals are invalid.

(a) Transcript of JLPT

② Oral examination

(a) Examination that asks basic skills related to applicant’s specialized subjects. (Approx. 10 minutes)

(b) Examination centered mainly on the applicant’s Master’s degree thesis or its substitute, and the statement of the applicant’s research plan at UGSAS, GU. The examination will consist of 30 minutes of presentation and about 20 minutes of discussion. A projector and a Windows laptop computer with PowerPoint will be available for use.

8. Date and Venue of Examinations

Time, date, and the place of the oral examination is shown in the following table.

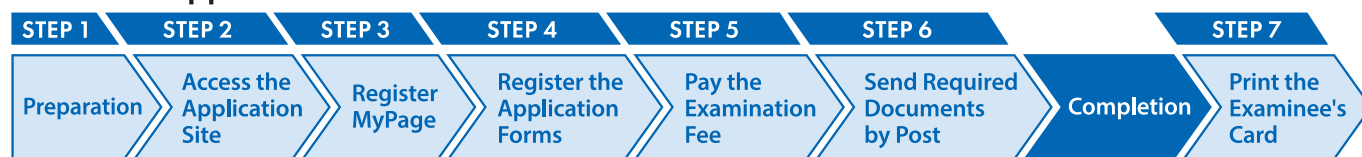
The Third / The First Admission	Monday, July 7, 2025	Examination	Time	Venue
The Second Admission	Thursday, February 5, 2026	Oral	Individually specified	The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University

9. Announcement of Successful Candidates

The Third / The First Admission	Friday, July 18, 2025	10:00 a.m. (JST)	Examinee’s Numbers of successful candidates will be posted on the Gifu University website (https://www.gifu-u.ac.jp/). Successful candidates will be able to download the acceptance notification from the Online Application Website.
The Second Admission	Tuesday, February 17, 2026		

Online Application Procedure

The online application flow is as follows.



STEP

1



Preparation

Prepare a computer and printer connected to internet (smartphone and tablet are not recommended).
Prepare *required documents well in advance before application since it may take time to obtain them.

*Required Documents : ID photo data, certificates etc.
For details, please check **the application guidelines** for the graduate schools you wish to enter.



STEP

2



Access the Application Site

From the application site ▶ <https://e-apply.jp/ds/gifu-gs/>



STEP

3



MyPage Registration

Follow the instructions on the screen to enter the required information and register for MyPage.
If you have already registered MyPage, please proceed to STEP4.



① If you register MyPage for the first time, please login from **My Page Registration**.



② Register your email address and click **Submit a temporary registration e-mail**.

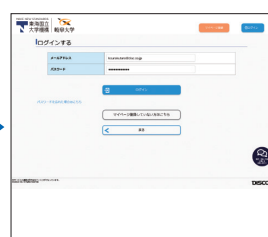


③ Click **Go To Login**.



④ The initial password and URL for main registration will be sent to the e-mail address.

*Please check your e-mail settings as well to ensure that you are able to receive e-mails from @e-apply.jp.



⑤ On the login screen, enter the registered e-mail address and the initial password you received in ④, and click **Login**.



⑥ Change from the initial password to new password.



⑦ Enter the required personal information and click **Next**.



⑧ Confirm the personal information you entered and click **To register in this content**.



- ⑨ Registration is completed. Click **To My Page**.
- ⑩ When the above is displayed, MyPage registration is complete.

⑪ During the application period, click **Carry out the application procedure** to continue the application procedure. Outside of specified periods, you cannot proceed any further, so click **Log-out** to logout.

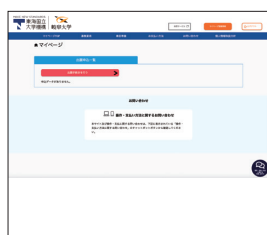
STEP

4

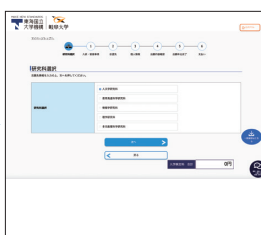


Register the Application Forms

Make sure to confirm the procedures and notes on the screen page, and enter required information.



- ① Login to MyPage and click **Carry out the application procedure**, then go to the registration screen.



- ② Select your graduate school.



- ③ Select the entrance exam to take and read the important notes.



- ④ Choose which major to apply for.



- ⑤ Upload ID photo data and click **To choose photo** to select a photo.



- ⑥ Enter the required personal information.



- ⑦ Confirm application form. You can check the application form by clicking **Application Form (sample)**.

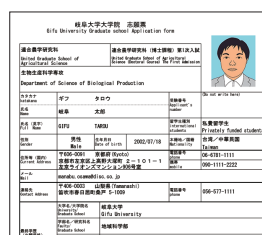


- ⑧ Application registration is completed. Click **Continue to pay** to proceed to the examination fee payment screen.



Payment is due within 4 days including the date of application. However, if the Web application deadline falls earlier than that, the payment deadline will be the Web application deadline.

- ⑨ How to pay the examination fee
- Convenience stores*
 - ATMs with Pay-easy*
 - Internet banking*
 - Credit card
- *Only available in Japan



- ⑩ PDF documents are required for application (image).

- ⑪ Printing will be available after payment of the examination fee. These are required to submit as well as required documents.

If you choose to pay the examination fee at a convenience store or a bank ATM that supports Pay-easy, please make sure to write down the necessary payment number displayed after selecting the payment method, and pay the fee at a convenience store or bank ATM within the notified payment deadline.

At 7-ELEVEN

Payment slip number (13 digits)

At Daily YAMAZAKI, Seicomart

Online settlement number (11 digits)

At LAWSON, MINISTOP, FamilyMart, ATMs with Pay-easy

Customer number (11 digits)

Confirmation number (6 digits)

receiving institute number (5 digits)

5 8 0 2 1 At ATMs with Pay-easy

A confirmation e-mail will be sent to you after you have completed the registration of your application. If you have set restrictions on receiving e-mails, please allow the sender (@e-apply.jp).

*Please note that the confirmation email may be sent to your junk folder.



After the examination fee has been paid, you will not be able to correct your application contents. Please check your application contents before paying the examination fee. If there are any errors, please register again from Step 3.

*Please note that if you select credit card in "⑨How to pay the examination fee", the payment will be completed at the same time as registration.

STEP

5



Pay the Examination Fee

Payment is due within 4 days including the date of application. However, if the Web application deadline falls earlier than that, the payment deadline will be the Web application deadline.

1 Paying with a credit card

You can select and make a pay during the Web application.

[Credit cards available for the payment]

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFG, DC, UFJ, NICOS



The payment can be completed during the Web application.

2 Paying by internet banking (Only in Japan)

After your Web application is registered, the page will shift to the site of the bank you chose. Make the payment as instructed on this screen.

*Internet banking registration of your bank account is required.

The payment can be completed online.

3 Paying at convenience stores (Only in Japan)

Write down the number displayed after your Web application is registered, and pay at any one of the following convenience stores.

● Pay at the cashier

● Pay using the terminal



Loppi



Multi-functional copy machine

あなたも、コンビニに、
FamilyMart

4 Paying at ATMs with Pay-easy option (Only in Japan)

Write down the number displayed after your Web application is registered, and pay at any one of the ATMs with Pay-easy option as instructed on the screen.



*Banks with Pay-easy option can be checked on the [Selection of Payment Method] page.

Enter necessary information as instructed on the screen of the terminal or ATM, check the information displayed, and make the payment.

3 Convenience Stores

7-ELEVEN



Cashier

Tell the cashier you want to make an internet payment.

Tell him/her your payment slip number (13 digits).

Pay at the cashier.*

Make sure you receive the payment receipt.

Daily YAMAZAKI YAMAZAKI Daily Store



Cashier

Tell the cashier you want to make an online settlement payment.

Tell him/her your online settlement number (11 digits).

LAWSON MINISTOP



Loppi

Click "those who have a specific numbers".

Enter the "customer number (11 digits)".

Click "multi-payment service".

Enter the "confirmation number (6 digits)".

Check the information displayed.

Bring to the cashier the receipt printed out from the terminal and pay in cash within 30 minutes.*

Make sure you receive the payment receipt with the statement.

FamilyMart



Multi-functional copy machine

Click "Payment/Charge (Convenience Store Payment/Charge)".

Enter the "customer number (11 digits)".

Enter the "confirmation number (6 digits)".

Check the information displayed.

Seicomart



Cashier

Tell the cashier you want to make an internet payment.

Tell him/her your online settlement number (11 digits).

Pay in cash at the register.*

4 ATMs

ATMs with Pay-easy option



ATMs with Pay-easy option

Click "Pay tax/charge".

Enter the "receiving institution number (58021)".

Enter the "customer number (11 digits)".

Enter the "confirmation number (6 digits)".

Check the information displayed.

Select "cash" or "cash card" and make the payment.*

Make sure you receive the receipt with the statement.

*If you choose Yucho (Japan Post) Bank or ATM, please pay in cash card if the payment exceeds more than 100,000 yen. You can pay in cash up to 300,000 yen at convenience stores.

STEP

6



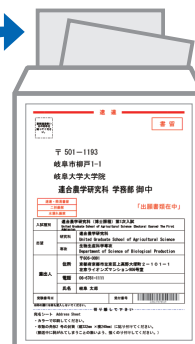
Send Required Documents by Post

Print the documents downloadable in color after the completing and paid your application and send them from post office by simple registered express mail (簡易書留速達郵便) along with other required documents within the application period. If you are from outside Japan, send them by tracked post (EMS etc.) within the application period.

Required documents

- Documents to be printed from the web application
- Documents to be downloaded from the Graduate School WEB site and prepared
- Certificated issued by your graduated universities

One copy is required for each application registration.
Please refer to **the application guidelines** for the required documents.



Address sheet for submitting your application

Attach the sheet to a commercially available Kaku2 envelope (24cm×33.2cm).



If the application guidelines specify other submission methods, please follow it.

The mailing address of your application will be automatically printed on the Address Sheet.
When sending from overseas, do not use this sheet.

*The examination fee and necessary documents that have been received will not be returned in any way except for those specified in **the application guidelines**.

<Application Completion>

Note for Application

Your application will be completed only after you complete the web application, pay the examination fee, and send by post the required documents by the deadline. Even if you have completed the web application, if the required documents do not arrive at Gifu University by the deadline, your application becomes invalid.

Please make sure to check the deadline in **the application guidelines**.

Web application is possible 24/7, but please prepare and submit the documents well before the deadline.

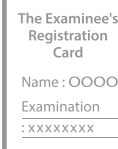
STEP

7



Print the Examinee's Registration Card

When the application is accepted and the examinee's registration card is able to be printed, you will be notified it through the e-mail address you have registered. If you do not receive the e-mail, please login to the Web application site by the day before the examination, print the card out on an A4 paper, single-sided in color, and bring this with you on the day of the examination.



10. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Gifu University provides consultation for challenged applicants who may require special arrangements during the entrance examinations.

Please be sure to request consultation as soon as possible (regardless of the consultation deadline), since it may take some time to make special arrangements, depending on the outcome of the consultation.

The consultation is for seeking the better arrangement during the entrance examination. Therefore it doesn't count against the applicants in the determination.

Please contact our office for consulting about the study after entering Gifu University.

(1) Consultation Period

Please contact us at the latest one week before the start of the application period.

*Those who use hearing aid, crutch and wheelchair in everyday life is needed to consult because of the arrangement for the room of examination and others.

(2) Consultation Process

Applicants must submit the following documents. If necessary, the applicant or a related party may be asked to attend an interview.

a) Applicants must submit a Special Disability Assistance for Exams Application Form (refer to the form provided by Gifu University).

b) Applicants must submit a copy of their medical certificate and a disability handbook.

(3) How to request the application form specified by Gifu University

Please note that the application form can be downloaded from the admissions information section of Gifu University website.

When submitting a request for the Special Disability Assistance for Exams Application Form by post, please write "Request for Special Disability Assistance for Exams Application Form" in red ink on the front of the envelope, enclose a self-addressed return envelope (rectangular or *nagagata* #3 23.5cm long, 12.0cm wide) with 110 yens' worth of stamps affixed to it and send it to UGSAS, GU.

*The self-addressed return envelope should have your name, address and postal code clearly indicated on it. The self-addressed return envelope may be folded up.

(4) In the event of disability caused by sudden or unforeseen accidents after the consultation deadline

In the event of disability caused by sudden or unforeseen accident etc. after the consultation deadline, please contact us as soon as possible.

11. Admission Procedures

(1) Admission Procedures

Details of enrollment procedures will be posted on the Gifu University web page (<https://www.gifu-u.ac.jp/>).

Follow the instructions on the website to complete the procedures. Detail dates of the procedures to be announced.

(2) Declining to Enroll

Those who do not complete the admission procedures by the designated date shall be deemed to have no intention of enrolling in the Gifu University and to have declined enrollment.

(3) Admission Fee

Admission fee: 282,000 yen (estimated)

*Other than the admission fee, successful candidates are required to purchase “Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)” and “Liability Insurance for Students Pursuing Education and Research (LSR)”. Further information will be posted on university website (<https://www.gifu-u.ac.jp/>).

Students who will complete the master’s program at any participating university by the following date are exempt from admission fee.

*by September 30, 2025 (for entrance in October, 2025), by March 31, 2026 (for entrance in April, 2026) or September 30, 2026 (for entrance in October, 2026).

*The admission fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

12. Tuition Fee

Tuition fee (half-year): 267,900 yen (estimated; 535,800 yen a year is payable in two installments for the first and second semester)

*Students will pay the tuition in May and November by bank account transfer.

*International students who will remain as the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship recipients in the new academic year are exempt from both admission and tuition fees. The international students mentioned above must submit the certificate of the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship.

*The tuition fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

13. Long-term Enrollment System

Our graduate school has a system called the “Long-term Enrollment System” stipulated in Article 15 of the Graduate School Establishment Standards. This system allows students with a full-time job or other circumstances, who wish to complete the program, to study beyond the standard term for a set period of time with a well-planned curriculum. Those who wish to apply this system must contact the Office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University during the application period.

14. Important Notification

- (1) Applicants must contact the prospective primary academic supervisor of choice before applying to the program.
- (2) Submitted application forms will not be returned and any alteration of the forms will not be allowed.
- (3) Applicants must submit complete, accurate and authentic documents for application. Otherwise, the admission may be denied.

15. Examination Fee Reimbursement

(1) The examination fee will be reimbursed under the following conditions.

- (a) If the application is not accepted.
- (b) If the applicant pays the examination fee twice or pays too much in error.
- (c) If the applicant does not submit an application after paying the examination fee.
- (d) If the applicant receives a Japanese Government Scholarship and mistakenly pays the examination fee.

(2) Requesting reimbursement

Please send your request to the office, if you are eligible for reimbursement.

16 Personal Information

The information provided in the application, such as name, address, and other personal information will only be used by the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University Office for the purpose of processing applications and notifying successful applicants.

**Special Admission
for
International Students**

1. Number of Students to be Admitted

Refer to Page 51.

2. Admission Dates

April or October 2026

Applicants who wish to change their desired entrance date from April to October after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Friday, February 27, 2026.

3. Qualifications for Application

Applicants who have / are expected to be conferred a Master's degree, and should meet all of the following qualifications by March 31, 2026(for entrance in April, 2026) or September 30, 2026 (for entrance in October, 2026).

- a. Applicants should be outstanding students with the ability to obtain a doctorate within three years of admission to the program as international students.
- b. Applicants should be recommended by direct supervisors such as academic supervisors at their graduate school, directors at government agencies or private companies.
- c. Applicants should be proficient in English.

4. Examination Schedule

	Date	*Exceptions (Inquire before applying)
Period of Online Application & Payment of the Examination Fee	Wednesday, May 7, 2025 to Friday, May 30, 2025, 1:00 p.m. (JST)	(For April Admission) Monday, June 2, 2025 to Friday, December 19, 2025 (For October Admission) Monday, June 2, 2025 to Friday, May 29, 2026
Period of Application Acceptance	No later than Wednesday, May 7, 2025 to Friday, May 30, 2025	(For April Admission) No later than Monday, June 2, 2025 to Friday, December 19, 2025 (For October Admission) No later than Monday, June 2, 2025 to Friday, May 29, 2026
	<p>Applicants are required to submit the necessary documents to the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by the following ways. If you are currently a university student, the application documents should be submitted by your university dean; if you are currently employed, they should be submitted by your immediate superior; other than those mentioned above, they should be submitted by the Dean at the university from which you graduated. The documents should be sent by registered express mail.</p> <p>Application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9 a.m. to 4 p.m. (except for holidays). If they are mailed, send them by register express (<i>kan-i kakitome sokutatsu</i>).</p> <p>Print the address sheet from the Online Application Website and paste it on a <i>kakugata 2</i> envelope (33.2 cm (H) x 24.0 cm (W)).</p> <p>Applicants residing overseas should send them by EMS, FedEx, DHL, etc. Applications arrived after the acceptance period will not be accepted for any reason.</p>	
Examination	Thursday, June 12 to Monday, June 30, 2025	Tuesday, July 1, 2025 to Tuesday, June 30, 2026
	Place: Gifu University, applicant's graduating school, or designated place by the admissions committee	
Announcement of Successful Candidates	10:00 a.m. (JST) on Friday, July 18, 2025	Within 30 days after the examination date
	<p>Examinee's Numbers of successful candidates will be posted on the Gifu University website (https://www.gifu-u.ac.jp/).</p> <p>Successful candidates will be able to download the acceptance notification from the Online Application Website.</p>	<p>Examinee's Numbers of successful candidates will be posted on UGSAS, GU website (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/).</p> <p>Successful candidates will be able to download the acceptance notification from the Online Application Website.</p>

*Exceptions: Applicants who fall into any of the following categories are eligible to take the exam throughout a year from Tuesday, July 1, 2025 to Tuesday, June 30, 2026.

- Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at the member universities of the consortium (see the list below)
- Those who are teaching at the member universities of the consortium (see the list below)

Consortium Member Universities

- Bangladesh Agricultural University (Bangladesh) • University of Dhaka (Bangladesh)
- Guangxi University (China) • Assam University (India)
- Indian Institute of Technology, Guwahati (India) • Andalas University (Indonesia)
- IPB University (Indonesia) • Gadjah Mada University (Indonesia)
- Institut Teknologi Bandung (Indonesia) • Sebelas Maret University (Indonesia)

- University of Lampung (Indonesia) • National University of Laos (Laos)
 - Mariano Marcos State University (Philippines) • Chulalongkorn University (Thailand)
 - Kasetsart University (Thailand) • King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (Thailand)
 - King Mongkut's University of Technology Thonburi (Thailand)
 - Hanoi University of Science and Technology (Vietnam) • Thuiloy University (Vietnam)
- (As of April 2025)

c. Those who are specially accredited by UGSAS, GU

5. Application Procedure

After registration and paying entrance examination fee on the Online Application Website (See page 58), download and print out the required documents, and submit them so they arrive within the application acceptance period. The application will be completed at the moment it is confirmed that all of the documents arrived within the application period and are not defective, and the applicant is eligible to apply.

Make the payment of the exam fee within four days* including the date of application registration. If it is not paid within four days, the application registration will be automatically canceled. When it is automatically canceled, register again.

*If the payment deadline is earlier than the fourth day including registration, the payment deadline will take precedence.

Overseas applicants must pay by credit card.

Examination fee: 30,000 yen	<p>A payment fee will be required in addition to the examination fee. The amount of the payment fee will be shown on the website during payment process.</p> <p>*Foreign students who receive a Japanese Government Scholarship do not need to pay the examination fee.</p> <p>Applicants who meet the conditions described above* must check "Applicable" under "About the examination fee" when applying on the Online Application Website. A password is required to go through this procedure. Please inquire before application. Please note that the application documents will not be accepted if the applicant, who should have paid the examination fee, mistakenly selects "Applicable" in the "About the examination fee" section and submits the application documents without paying the examination fee.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>As a special measure, Gifu University will waive the examination fee for applicants who have been affected by a major natural disaster. Please refer to the Gifu University website (https://www.gifu-u.ac.jp) for details. Those who are eligible must submit the required documents by the designated date.</p> </div>
-----------------------------	--

Print of the Examinee's Registration Card

After the application is confirmed by the university, the Examinee's Registration Card can be downloaded from the Online Application Website. Please make sure to print it out (on A4 paper) and bring it with you on the day of the exam. *Detailed dates of the procedures to be announced.

NOTE 1: The Receipt Number issued at the moment of online registration is not the Examinee's Registration Number. The Receipt Number will not be accepted on the day of the exam. Be sure to bring your Examinee's Registration Card.

NOTE 2: The Examinee's Registration Card displayed on the smartphone or other devices will not be accepted on the day of the exam.

<Documents to be submitted for application>

(1) Gifu University Graduate School Application form	<p>Download from the Online Application Website and print them in A4, in color and on one side.</p> <p>*Prior to application, prepare and upload a photo data of the applicant's upper body, hatless, front facing, taken within 3 months from the Online Application Website.</p>	1 original
--	--	------------

(2) Application for Admission (Form No. 1-2)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) In the "in English" field of "Name", enter the alphabetical name as it appears on your passport. Signature in handwriting or seal is required on it.		1 original
(3) Curriculum vitae (Form No. 2)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) *International students should fill from elementary education.		1 original
(4) Academic record	Official transcripts from the (a) university and (b) graduate school the applicant graduated from (issued by the university the applicant graduated from).		(a) 1 original (b) 1 original
(5) Score certificate for English proficiency	Official transcript of TOEFL, TOEIC, or similar test of English language proficiency. (Students, such as applicants for Japanese Government Scholarship, whose English proficiency has already been verified can substitute score certificate for English proficiency with other documents which shows their English proficiency.)		1 copy
(6) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master's Degree			1 original
(7) Thesis for a Master's Degree, etc. (Form No. 3: Cover sheet)	A. Those who hold a Master's degree	(a) A copy of the Master's thesis or an equivalent document	1 copy
		(b) Summary of Master's thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
	B. Those who are expected to complete a Master's Course	(a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams)	1 copy
		(b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
(8) Statement of Research Plan (Form No. 4: Cover sheet)	Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 4 as a cover.		5 copies (1 original, 4 copies)
(9) Letter of Recommendation (Form No. 5)	Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school, your direct directors at the government agencies or private companies. Use Form No. 5.		1 original
(10) Letter of Consent for Application (Form No. 6)	If you work at the University, government agencies or private companies, submit a letter of consent for application written by the director of your company or public office. Use Form No. 6.		1 original
(11) Resident Record or Passport copy	A: International applicants who have already resided in Japan should submit (a) and (b) (c) Copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant's status of residence is stated. (d) Copy of Passport B: Other international applicants Copy of Passport. If you don't have a passport, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document.		1 photocopy

(12) Prospective Academic Supervisors (Form No. 10)	Applicants must request that the primary academic supervisor they wish to be advised by at UGSAS, GU complete this form. Use Form No. 10.	1 original
(13) Declaration of applicable specific categories / Flowchart for Determining Applicable Categories (様式1/Attachment)	In accordance with the clarification of the scope of control for “deemed exports” under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (“FEFTA”), some provision of sensitive technology to students by universities and research institutions has become subject to control under the FEFTA.	1 original

6. Online Application Procedure

Refer to Page 58.

7. Method of Selection of Applicants

In-person or internet interview:

Basically, in-person interview will be conducted by three faculty members. If the applicant is unable to come to Japan, the interview may be conducted at his/her home university or other institution via a video conference system. Please make inquiries about the video conference system (e.g., usage, standards) in advance. If the video conference system is not available, the interviews will be conducted via e-mail.

Notes: E-mail Interviews

- 1) The applicant will be contacted via e-mail by his/her prospective primary academic supervisor first. This e-mail will be sent to the applicant at the e-mail address written on his/her admission application.
- 2) E-mail interviews will be conducted by three faculty members in the applicant’s preferred field of study. The applicant will exchange e-mail messages at least three times with each faculty member (a total of nine times or more).

8. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Refer to Page 62.

9. Admission Procedures

Refer to Page 62.

10. Tuition Fee

Refer to Page 63.

11. Long-term Enrollment System

Refer to Page 63.

12. Important Notification

Refer to Page 63.

13. Examination Fee Reimbursement

Refer to Page 64.

14. Personal Information

Refer to Page 64.

English Program for International Students

1. Overview

This program aims to accept outstanding students from other countries and cultivate leaders for researchers in the field of Agriculture. In this program, all lectures will be given in English. International students are able to get all the required credits for completion without using Japanese.

Examination fee, admission fee and tuition fee for 3 years for this program's students will be non-collected.

2. Number of Students to be Admitted

Course	Admission Quota
Science of Biological Production	a few
Science of Biological Environment	a few
Science of Biological Resources	a few

* Applicants may apply for both the English Program for International Students and The Second Admission.

3. Admission Dates

April or October 2026

Applicants who wish to change their desired entrance date from April to October after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Friday, February 27, 2026.

4. Qualifications for Application

Applicants should meet all of the following qualifications.

(1) Applicants who have been conferred a Master's degree or who are expected to be conferred a Master's degree by March 31, 2026 (for entrance in April, 2026) or September 30, 2026 (for entrance in October, 2026).

(2) Applicants should be academically outstanding international students with the ability to obtain a doctorate within three years of enrollment in the program.

(3) Applicants should be recommended by his/her direct supervisors such as academic supervisors at their graduate school, directors at government agencies or private companies.

(4) Applicants should meet at least one of the following requirements to show English proficiency.

- ① TOEFL iBT: 72 points or more
- ② IELTS: 5.5 points or more

5. Application Procedure

After registration and paying entrance examination fee on the Online Application Website (See page 58), download and print out the required documents, and submit them so they arrive within the application period. The application will be completed at the moment it is confirmed that all of the documents arrived within the application period and are not defective, and the applicant is eligible to apply.

Period of registration on the Online Application Website

Friday, December 5, 2025 to Friday, December 19, 2025, 1:00 p.m. (JST)

Period of Application Acceptance

No later than Friday, December 5, 2025 to Friday, December 19, 2025

Application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9 a.m. to 4 p.m. (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kan-i kakitome sokutatsu*).

Print the address sheet from the Online Application Website and paste it on a *kakugata 2* envelope (33.2 cm (H) x 24.0 cm (W)).

Applicants residing overseas should send them by EMS, FedEx, DHL, etc. Applications arrived after the acceptance period will not be accepted for any reason.

Print of the Examinee's Registration Card

To be Notified by email after Wednesday, January 14, 2026

After applications are confirmed by the university, the Examinee's Registration Card can be downloaded from the online application website. Please make sure to print it out (on A4 paper) and bring it with you on the day of the exam.

NOTE 1: The Receipt Number issued at the moment of online application is not the Examinee's Registration Number. The Receipt Number will not be accepted on the day of the exam. Be sure to bring your Examinee's Registration Card.

NOTE 2: The Examinee's Registration Card displayed on the smartphone or other devices will not be accepted on the day of the exam.

<Documents to be submitted for application>

(1) Gifu University Graduate School Application form	Download from the Online Application Website and print them in A4, in color and on one side. *Prior to application, prepare and upload a photo data of the applicant's upper body, hatless, front facing, taken within 3 months from the Online Application Website.	1 original
(2) Application for Admission (Form No. 1-3)	Download the form from website of UGSAS, GU and complete it. (https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/) In the "in English" field of "Name", enter the alphabetical name as it appears on your passport. Signature in handwriting or seal is required on it.	1 original
(3) Curriculum vitae (Form No. 2)	Print clearly on the curriculum vitae form (Form No. 2). *International students should fill from elementary education.	1 original
(4) Academic record	Official transcripts from the (a) university and (b) graduate school the applicant graduated from (issued by the university the applicant graduated from).	(a) 1 original (b) 1 original

(5) Score certificate for English proficiency	<p>One of the followings is required.</p> <p>①TOEFL iBT: Official Score Reports or Test Taker Score Report</p> <p>②IELTS: Test Report Form</p> <p>*Any unofficial certificates such as “Prediction Test” are not acceptable.</p> <p>*Screen shots of preliminary reports on the webpage are not be accepted.</p> <p>*For the TOEFL iBT test, only Test Date scores will be accepted. (MyBest scores are not accepted.)</p>		1 copy
(6) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master’s Degree			1 original
(7) Thesis for a Master’s Degree, etc. (Form No. 3: Cover sheet)	A. Those who hold a Master’s degree	(a) A copy of the Master’s thesis or an equivalent document	1 copy
		(b) Summary of Master’s thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
	B. Those who are expected to complete a Master’s Course	(a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams)	1 copy
		(b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 3 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
(8) Statement of Research Plan (Form No. 4: Cover sheet)	Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 4 as a cover.		5 copies (1 original, 4 copies)
(9) Letter of Recommendation (Form No. 5)	Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school, your direct directors at the government agencies or private companies. Use Form No. 5.		1 original
(10) Letter of Consent for Application (Form No. 6)	If you work at the University, government agencies or private companies, submit a letter of consent for application written by the director of your company or public office. Use Form No. 6.		1 original
(11) Resident Record or Passport copy	<p>A: International applicants who have already resided in Japan should submit (a) and (b)</p> <p>(e) Copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant’s status of residence is stated.</p> <p>(f) Copy of Passport</p> <p>B: Other international applicants</p> <p>Copy of Passport.</p> <p>If you don't have a passport, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document.</p>		1 photocopy
(12) Prospective Academic Supervisors (Form No. 10)	Applicants must request that the primary academic supervisor they wish to be advised by at UGSAS, GU complete this form. Use Form No. 10.		1 original

(13) Declaration of applicable specific categories / Flowchart for Determining Applicable Categories (様式1 / Attachment)	In accordance with the clarification of the scope of control for “deemed exports” under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (“FEFTA”), some provision of sensitive technology to students by universities and research institutions has become subject to control under the FEFTA.	1 original
--	---	------------

6. Online Application Procedure

Refer to Page 58.

7. Method of Selection of Applicants

Selection will be made by the results of oral examinations, transcripts, and other material of the applicant.

- Oral examination

Examination centered mainly on the applicant’s Master’s degree thesis or its substitute, and the statement of the applicant’s research plan at UGSAS, GU. The examination will consist of 30 minutes of presentation and about 30 minutes of discussion. A projector and a Windows laptop computer with PowerPoint will be available for use.

8. Date and Venue of Examinations

Time, date, and the place of the oral examination is shown in the following table.

	Examination	Time	Venue
Thursday, February 5, 2026	Oral	Individually specified	The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University

9. Announcement of Successful Candidates

Tuesday, February 17, 2026	10:00 a.m. (JST)	Examinee’s Numbers of successful candidates will be posted on the Gifu University website (https://www.gifu-u.ac.jp/). Successful candidates will be able to download the acceptance notification from the Online Application Website.
----------------------------	------------------	--

10. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Refer to Page 62.

11. Admission Procedures

(1) Admission Procedures

Details of enrollment procedures will be posted on the Gifu University web page (<https://www.gifu-u.ac.jp/>). Follow the instructions on the website and to complete the procedures. Detail dates of the procedures to be announced.

(2) Declining to Enroll

Those who do not complete the admission procedures by the designated date shall be deemed to have no intention of enrolling in the Gifu University and to have declined enrollment.

(3) Admission Fee

Admission fee will be non-collected.

*Students who fail admission of English program for international students but enroll by The Second Admission need to pay admission fee 282,000 yen (estimated). However, students who will complete the master's program at any participating university in March or September 2026 are exempt from admission fee.

*Other than the admission fee, successful candidates are required to purchase "Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)" and "Liability Insurance for Students Pursuing Education and Research (LSR)".

*The admission fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

12. Tuition Fee

Tuition fee (for 3 years, completion term) is exempted

*Students who fail admission of English program for international students, but enroll by The Second Admission need to pay tuition fee (half semester) 267,900 yen, (the annual amount 535,800 yen) (estimated).

*The tuition fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

13. Important Notification

- (1) Applicants must contact the prospective primary academic supervisor of choice before applying to the program.
- (2) Submitted application forms will not be returned and any alteration of the forms will not be allowed.
- (3) Applicants must submit complete, accurate and authentic documents for application. Otherwise, the admission may be denied.

14. Examination Fee

Examination fee will be non-collected.

*Examination fee for applicants who make applications to both English Program for International Students and The Second Admission will be notified individually later.

15. Personal Information

The information provided in the application, such as name, address, and other personal information will only be used by the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University Office for the purpose of processing applications and notifying successful applicants.

**International Joint Ph.D. Program
in Food Science & Technology
between Gifu University and
Indian Institute of Technology Guwahati**

1. Admission Quota

Program of Study	Admission Quota	
International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology	Gifu University	Indian Institute of Technology Guwahati
	1	1

2. Admission Dates

2026 Academic Year (April)

3. Qualifications for Application

Refer to Page 51 for The First / The Second Admission.

4. Application Procedure

Refer to Page 55 for The First / The Second Admission, “5. Application Procedure < **Documents to be submitted for Application** >”. The language for the application must be English.

After registration and paying entrance examination fee on the Online Application Website (See page 58), download and print out the required documents, and submit them so they arrive within the application acceptance period. The application will be completed at the moment it is confirmed that all of the documents arrived within the application acceptance period and are not defective, and the applicant is eligible to apply.

Period of Online Application Registration and Payment of Examination Fee

The First Admission	Tuesday, May 20, 2025 to Thursday, May 29, 2025, 1:00 p.m. (JST)
The Second Admission	Friday, December 5, 2025 to Friday, December 19, 2025, 1:00 p.m. (JST)

Make the payment of the exam fee within four days* including the date of application registration. If it is not paid within four days, the application registration will be automatically canceled. When it is automatically canceled, register again.

*If the payment deadline is earlier than the fourth day including registration, the payment deadline will take precedence.

Overseas applicants must pay by credit card.

Entrance Examination Fee : 30,000 yen	<p>A payment fee will be required in addition to the examination fee. The amount of the payment fee will be shown on the website during payment process.</p> <p>*An examination fee is not necessary for those who will complete any of the master's courses of Gifu University or Shizuoka University at the time shown below and wish to continue a post graduate course at the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University.</p> <p>-The First Admission: in March 2026 -The Second Admission: in March 2026</p> <p>Applicants who meet the conditions described above* must check "Applicable" under "About the examination fee" when applying on the Online Application Website.</p> <p>Please note that the application documents will not be accepted if the applicant, who should have paid the examination fee, mistakenly selects "Applicable" in the "About the examination fee" section and submits the application without paying the examination fee.</p> <div><p>As a special measure, Gifu University will waive the examination fee for applicants who have been affected by a major natural disaster. Please refer to the Gifu University website (https://www.gifu-u.ac.jp) for details. Those who are eligible must submit the required documents by the designated date.</p></div>
---------------------------------------	---

Period of Application Acceptance

The First Admission	No later than Tuesday, May 20, 2025 to Thursday, May 29, 2025
The Second Admission	No later than Friday, December 5, 2025 to Friday, December 19, 2025

Application documents may either be sent via registered express mail (*kan-i kakitome sokutatsu*) or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9 a.m. to 4 p.m. (except for holidays).

Print the address sheet from the Online Application Website and paste it on a *kakugata 2* envelope (33.2 cm (H) x 24.0 cm (W)).

Applicants residing overseas should send them by EMS, FedEx, DHL, etc. Applications arrived after the acceptance period will not be accepted for any reason.

Print of the Examinee's Registration Card

The First Admission	To be notified by email after Wednesday, June 11, 2025
The Second Admission	To be notified by email after Wednesday, January 14, 2026

After applications are confirmed by the university, the Examinee's Registration Card can be downloaded from the Online Application Website. Please make sure to print it out (on A4 paper) and bring it with you on the day of the exam.

NOTE 1: The Receipt Number issued at the moment of online application is not the Examinee's Registration Number. The Receipt Number will not be accepted on the day of the exam. Be sure to bring your Examinee's Registration Card.

NOTE 2: The Examinee's Registration Card displayed on the smartphone or other devices will not be accepted on the day of the exam.

5. Online Application Procedure

Refer to Page 58.

6. Selection Criteria

Selection will be conducted in two-stages based on the results of the applicant's oral examination, transcripts, and other supporting materials.

(1) Examination for international joint Ph.D. program in food science & technology

Fundamental knowledge in the target academic area in which the applicant wishes to study, research plan, master's thesis, etc., and competency in the English language.

(2) Examination for the United Graduate School of Agricultural Science (The First/Second Admission)

Take one of the following examinations;

The First Admission

The Second Admission

Applicants who wish to enter the International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology are to apply concurrently for the Science of Biological Resources Course, in which the desired academic supervisor belongs to.

Entrance examinations for this course will be conducted in July (1st Admission) or February (2nd Admission).

Form No. 1-4 shall be filled out as follows:

First choice: International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology

Second choice: Science of Biological Resources

(3) English language qualification

You will need to demonstrate competency in English by submitting a test score from one of the following recognized English language qualification.

① TOEFL iBT: 80 points or more

② TOEIC Listening & Reading Test: 730 points or more

③ IELTS: 6 points or more

7. Date and Venue of Examinations

Examination	Date	Venue
Examination for International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology	January, 2026*	Individually specified
The First / The Second Admission for the Science of Biological Resources Course, UGSAS, GU	The First Admission: Monday, July 7, 2025	The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University
	The Second Admission: Thursday, February 5, 2026	

* Detail dates of the examinations to be announced.

8. Announcement of Successful Candidates

Tuesday, February 17, 2026, 10:00 a.m. (JST)

Examinee's Numbers of successful candidates will be posted on the Gifu University website (<https://www.gifu-u.ac.jp/>).
Successful candidates will be able to download the acceptance notification from the Online Application Website.

9. Fields of Instruction and Research Themes of Professors

Applicants are requested to fill out a request for primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Academic supervisor in IITG will be decided after consultation with your primary academic supervisor in Gifu-U.

10. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Refer to Page 62.

11. Admission Procedures

(1) Admission Procedures

Details of enrollment procedures will be posted on the Gifu University web page (<https://www.gifu-u.ac.jp/>).
Follow the instructions on the website to complete the procedures. Detail dates of the procedures to be announced.

(2) Declining to Enroll

Those who do not complete the admission procedures by the designated date shall be deemed to have no intention of enrolling in the Gifu University and to have declined enrollment.

(3) Admission Fee: 282,000 yen (estimated)

Admission fee will be non-collected.

*Other than the admission fee, successful candidates are required to purchase "Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS) " and "Liability Insurance for Students Pursuing Education and Research (LSR) ".

*The admission fee indicated above is the estimated amount. In the event that the fee is revised, the revised rate will be applied accordingly.

12. Tuition Fee / Terms & Conditions for Waiver

Tuition fee (first semester): 267,900 yen (estimated; 535,800 yen a year is payable in two installments for the first and second semester). Tuition fee for the first semester in the first year is waived. Subsequently, the waiver will apply every semester only to the students who demonstrate excellent study results for up to 3 years (completion term).

*The tuition fees indicated above are the estimated amount. In the event that the fees are revised, the revised rate will be applied accordingly.

13. Important Notification

Refer to Page 63.

14. Examination Fee Reimbursement

Refer to Page 64.

15. Personal Information

Refer to Page 64.

OUTLINE
THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF
AGRICULTURAL SCIENCE,
GIFU UNIVERSITY
(THREE-YEAR DOCTORAL COURSE)

1. Purpose of Foundation

By synergistically linking the respective Graduate Schools of Agriculture of Shizuoka University, Gifu University, and Shinshu University,* this program intends: to organize distinctive educational and research organizations; to foster researchers and technicians who have high level professional skills, abundant academic knowledge, and a broad vision in various sciences related to biological production, biological environment, and biological resources; to contribute to the progress of agricultural science and the development of biological resource-related industries; and, furthermore, to contribute to the development of agricultural science and related industries in foreign countries by actively accepting foreign students wishing to learn advanced science and technology, in response to the strong demand from overseas for training programs in the fields of agriculture, forestry, animal husbandry, and fisheries. The educational and research organizations of this graduate school will also contribute to the development of the Chubu district through industry-university collaboration, by taking into account various factors related to agricultural science and industry, such as the environment and location of the Chubu district.

*The United Graduate School of Agricultural Science was reestablished in AY2010 into the present organization consisting of Gifu University and Shizuoka University.

2. Outline of Specialized Courses

Science of Biological Production

Instruction and research unite a number of disciplines concerning soil fertility management for crops and feeding management of livestock; animal and plant nutrition, protection, breeding and genetics, and product use; and management, economics, and physical distribution in agricultural, forestry, and livestock industries. Topics concern the scientific principles and technologies of these primary industries in all processes leading from plant and animal production to delivery to the consumer.

Science of Biological Environment

Crucial issues in this area that cannot be ignored, either currently or in long-term perspectives, include development of farmland, forests, and fields that are the basis for biological production; maintenance of these resources in good condition; disaster prevention; and protection from degradation. Special note should be taken that recent international considerations of global-scale environmental problems from a number of perspectives have also included many issues in the agricultural domain. Aspects of this field include investigation of problems in inorganic environments through techniques in physics and chemistry, and ecological mechanisms as the basis for understanding of problems in the biological communities that populate these environments.

Science of Biological Resources

The organization, structure, and function of animal, plant, microbial, and other biological resources and soil, the base of their production, are explored from an interdisciplinary and integrated perspective including physical chemistry, chemistry, biochemistry, and biology. These analyses are the basis for investigating the principles governing bioresources and life functions; pursuit of basic research in bioengineering; understanding of the structure

and function of bioresources, including unutilized resources; and instruction and research in the principles and technologies behind more advanced processing and use, discovery of new functions, and bioresource waste processing.

International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology

The International Joint Ph.D. Program (JD Program) in the area of research and development in food and related industries aims to (1) nurture human resources who have mastered the fundamental knowledge and skills of food science and technology and acquired the skills in design thinking as well as (2) develop a global mindset (adaptation to different cultures and cooperability with global partners). The Program is structured to foster leaders in food and related industries in the North-eastern region of India as well as the Tokai-region of Japan, and contribute to identifying solutions for sustainable society, enabling optimal utilization of the resources in both regions, and benefiting both regions.

3. Special Features of the United Graduate School of Agricultural Science

(1) At the time of enrollment, each student may request a professor as his/her primary academic supervisor from the “Fields of Instruction and Research Themes of Professors”. The United Graduate School of Agricultural Science then assigns a professor as a primary academic supervisor and a field of study to each student based on the request.

(2) Each student at the United Graduate School of Agricultural Science will be assigned one primary academic supervisor and two co-academic supervisors.

(3) Although all students are registered with Gifu University, they conduct their course work mainly at the location where his/her primary academic supervisor is located.

The facilities and equipment at participating university locations are, however, available to all students.

[International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology between Gifu University and Indian Institute of Technology Guwahati]

It is mandatory for the Joint Ph.D. student to visit the Partner Institute for at least a period of six months to one year.

Schedule

Home Institution	1st	2nd	Break	3rd	4th	Break	1st	2nd	Break	3rd	4th	Break	1st	2nd	Break	3rd	4th	Break
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2
GU	Course work and research@ GU						Course work and research@ IITG						Course work and research@ GU					
IITG	Course work and research@ IITG						Course work and research@ GU						Course work and research@ IITG					

4. Requirements for Doctoral Degree

Successful completion of this doctoral course requires a residency of 3 years or more and acquisition of the prescribed credits. In addition, a student must pass the review of his/her doctoral dissertation along with the final examination. The successful completer will be awarded a Doctor of Philosophy in Agricultural Science or a Doctor of Philosophy. However, the aforementioned period of attendance may be shortened for any student who has achieved particularly outstanding research results.

To successfully complete this graduate course, at least 12 credits must be earned, 8 of which must be in required subjects with the remaining 4 in elective subjects.

The minimum credits required for completion of English Program for International Students is 12 (10 credits from required subjects and 2 credits from elective subjects).

A student who intends to obtain a Doctor of Philosophy at the completion of the Doctoral Program has to submit an application to UGSAS by the time of enrollment (course registration). The reason(s) for applying for a Doctor of Philosophy must be mentioned in the application. The delegates of UGSAS will discuss the propriety.

[International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology between Gifu University and Indian Institute of Technology Guwahati]

Successful completion of this doctoral course requires a residency of 3 years or more and acquisition of the prescribed credits. In addition, the student must pass the review of his/her doctoral dissertation along with the final examination. A Doctor of Philosophy degree will be conferred when all the requirements are met. The Degree is jointly awarded by both Institutions with the signatures of the Director of IITG and the President of Gifu-U as well as the crest of both Institutions on a single degree parchment.

To successfully complete this graduate course, at least 12 credits must be earned, 9 of which must be in required subjects with the remaining 3 in elective subjects.

Fields of Instruction and Research Themes of Professors

This list is subject to change. Please check our website (<https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/eng/examinee/>) for updates.

Course	PROFESSOR	Field of Instruction and Research		Major Subject Offered for Examination
		Research Field	Research Theme	
Science of Biological Production	YAMADA, Kunio (Gifu University)	Floricultural Science	Plant physiological study on improvement of quality and productivity of ornamental plants	Floricultural Science
	MATSUBARA, Yoichi (Gifu University)	Vegetable Crop Science	Biological and physiological study and the application to sustainable culture and environmental stress tolerance in vegetable crops	Vegetable Crop Science
	SUZUKI, Katsumi (Shizuoka University)	Protected Horticulture and Vegetable Crop Science	The study of suitable and high-quality vegetable production in protected horticulture	Protected Horticulture and Vegetable Crop Science
	KIRIIWA, Yoshikazu (Shizuoka University)	Vegetable Crop Science	The study on physiological response to abiotic stress in vegetable crop production	Vegetable Crop Science
	YAHATA, Masaki (Shizuoka University)	Pomology	Study on physiology of fruit set and Development of high quality fruit tree using chromosome engineering technique	Pomology
	MATSUMOTO, Kazuhiro (Shizuoka University)	Horticultural Science	The physiological and ecological studies on horticultural crops for the production of high quality agricultural products	Horticultural Science
	NAKATSUKA, Takashi (Shizuoka University)	Floricultural Science	Molecular biology of floricultural plants	Floricultural Science and Plant Molecular Biology
	SHIMAZU, Teruaki (Gifu University)	Environmental Control in Plant Production Systems	Development of environmental control techniques for plant production and its application to plant science	Greenhouse and Biosystems Engineering
	YAMANE, Kyoko (Gifu University)	Genetics and Plant Breeding	Search, collecting and evaluation of plant genetic resources	Genetics and Plant Breeding
	©NAKANO, Kohei (Gifu University)	Postharvest Engineering	Development of the quality preservation theory and technology in agricultural produces	Postharvest Technology
	KATO, Masaya (Shizuoka University)	Postharvest Physiology	Physiology, biochemistry, and molecular biology in postharvest horticultural crops	Postharvest Physiology
	LEE, Younmi (Gifu University)	Agricultural Economics	A theoretical and empirical study on regional agricultural economy and agricultural policy	Agricultural Economics and Agricultural Policy
	THAMMAWONG, Manasikan (Gifu University)	Postharvest Physiology	Study of the quality change mechanism in food and the development of quality maintenance technology	Postharvest Physiology
	MA, Gang (Shizuoka University)	Functional Properties of Fruit and Vegetables	Study on mechanisms of valuable nutrients and functional compounds accumulation in fruit and vegetables after harvest	Postharvest Biology and Technology
	(*) TSUTA, Mizuki (Gifu University)	Non-destructive Evaluation Technology	Food and agricultural products evaluation by light spectroscopy and data mining	Non-destructive Evaluation Technology
	KUSUDA, Satoshi (Gifu University)	Reproductive Sciences in Animal Conservation	Reproductive physiology and ecology in endangered animals and development of “Zoo Sciences”	Reproductive Sciences in Zoo Animals
	SASANAMI, Tomohiro (Shizuoka University)	Molecular Cell Biology	The studies on the molecular mechanism of egg envelop formation and fertilization in birds	Cell Biology
	YOGO, Keiichiro (Shizuoka University)	Reproductive Biology	Molecular and cellular biology of development and differentiation of mammalian germ cells	Reproductive Biology
	IWASAWA, Atsushi☆ (Gifu University)	Chemical Endocrinology	Biochemistry of animal endocrine system and metabolism	Chemical Endocrinology
	MATSUMURA, Shuichi (Gifu University)	Animal Genetics	Studies on evolutionary history and genetic diversity of animals	Animal Molecular Genetics
	YAYOTA, Masato (Gifu University)	Animal Nutritional Ecology	Nutritional ecology of ruminants and application to animal production	Animal Nutrition
	YAMAMOTO, Akemi (Gifu University)	Animal Nutrition	Nutrients requirement and nutritional evaluation for feedstuffs in monogastric animal	Animal Nutrition
	NINOMIYA, Shigeru (Gifu University)	Animal Management Science	Animal Welfare and Behaviour	Applied Ethology
	KOYA, Yasunori☆ (Gifu University)	Animal Reproductive Biology	Studies on evolution of reproductive mode in fishes using functional morphology of gonad and reproductive behavior, and their application for aquaculture	Animal Reproductive Biology

(*) indicates guest professors from the National Agriculture and Food Research Organization (NARO). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the Institute of Food Research, NARO.

(©) indicates professor who can also teach International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology.

(☆) indicates supervisors who will be able to accept new students until the entrance in April 2026.

Course	PROFESSOR	Field of Instruction and Research		Major Subject Offered for Examination
		Research Field	Research Theme	
Science of Biological Environment	HIRAMATSU, Ken (Gifu University)	Environmental Hydraulics	Management of water environment and aquatic ecosystem in rural area	Environmental Hydraulics
	ONISHI, Takeo (Gifu University)	Hydrology	Understanding the mechanism of water and material cycles and evaluation of the anthropogenic impact on these cycles	Hydrology
	ITO, Kengo (Gifu University)	Aquatic Environment	Management of environment and ecosystem conservation in paddy field	Ecology and Civil Engineering
	NISHIMURA, Shinichi (Gifu University)	Engineering for Agricultural Structures	Safety and effective use of agricultural structures for water supply	Engineering for Agricultural Structures
	NISHIYAMA, Tatsuro (Gifu University)	Engineering Mechanics of Structures for Irrigation	Mechanical analysis of dams for irrigation	Engineering Mechanics of Structures for Irrigation
	IMAIZUMI, Fumitoshi (Shizuoka University)	Erosion Control Engineering	Management of sediment and water in mountainous catchments	Erosion Control Engineering
	KATSUTA, Nagayoshi (Gifu University)	Earth's Environmental System	Decoding response of terrestrial environment to global changes recorded in lacustrine sediment	Earth's Environmental System
	YOSHIOKA, Yumi (Gifu University)	Hydrology	Evaluation of regional water cycle	Regional Hydrology
	MATSUI, Tsutomu (Gifu University)	Crop Production Science	Sustainable crop production	Crop Production Science
	MUKAI, Takahiko (Gifu University)	Biogeography	The studies of the biodiversity in space and through time, and of the conservation methods	Biogeography
	TAGAMI, Yohsuke (Shizuoka University)	Applied Entomology	Development of insect pest control technique using insect-symbiont relationship	Biology of insect symbiosis
	KASAI, Atsushi (Shizuoka University)	Biological Control	Studies of interspecies interactions on pest management	Biological Control
	HORIIKE, Tokumasa (Shizuoka University)	Molecular Evolution	Molecular evolution using genomic information	Bioinformatics
	©SUGA, Haruhisa (Gifu University)	Molecular Plant Pathology	Studies on evolution, ecology and pathogenicity of plant pathogens	Molecular Plant Pathology
	YAMASHITA, Masayuki☆ (Shizuoka University)	Ecological Genetics	Invasion ecology of exotic plants and weeds	Invasion Ecology
	INAGAKI, Hidehiro (Shizuoka University)	Agroecology, Weed science	Studies on assessment of biodiversity in rural area and ecological management of weed	Weed science
	OHTSUKA, Toshiyuki (Gifu University)	Ecosystem Ecology	Carbon cycling and carbon sequestration in terrestrial ecosystems	Carbon cycling in terrestrial ecosystems
	IIO, Atsuhiko (Shizuoka University)	Forest Eco-physiology	Eco-physiological process of canopy photosynthesis and transpiration in forest ecosystems	Forest Eco-physiology
	WEI, Yongfen (Gifu University)	Environmental Monitoring	Monitoring and assessment of mass circulation in basin environment	Environmental Monitoring
	ANDO, Masaki (Gifu University)	Management of Forest and Wildlife	Studies on biological interactions in forest ecology and wildlife management	Management of Forest and Wildlife
	TOMITA, Ryoto (Shizuoka University)	Environmental Sociology	Consideration of social thought and theory for sustainable and adaptive governance based on social research	Environmental Sociology
	MIYAKE, Takashi (Gifu University)	Evolutionary Ecology	Interaction between plants and animals and concomitant evolution of traits	Evolutionary Ecology
	SAITOH, Taku (Gifu University)	Environmental Biophysics	Studies on carbon, water and heat cycles in terrestrial ecosystems	Environmental Biophysics
	MORIBE, Junji (Gifu University)	Wildlife Resources	Conservation and sustainable use of wildlife	Wildlife Resources
	HIROTA, Isao (Gifu University)	Regional Resource Ecology	Studies on agroecosystem and natural resource in Southeast Asia and Japan	Regional Resource Ecology
	OKAMOTO, Tomoko (Gifu University)	Chemical Ecology	The ecological role of chemical compounds mediating biological interaction	Chemical Ecology
	TAMAKI, Ichiro (Gifu University)	Forest Ecological Genetics	Ecology and genetics for forest trees and plants	Forest Ecological Genetics
	(***)IJJIMA, Hayato (Gifu University)	Population Ecology	Studies on population dynamics of organisms and its mechanisms	Population Ecology

(©) indicates professor who can also teach International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology.

(***) indicates guest professors from the Forestry and Forest Products Research Institute (FFPRI). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the FFPRI.

(☆) indicates supervisors who will be able to accept new students until the entrance in April 2026.

Course	PROFESSOR	Field of Instruction and Research		Major Subject Offered for Examination
		Research Field	Research Theme	
Science of Biological Resources	KOJIMA, Yoichi (Shizuoka University)	Wood Biomass Science	Studies on the effective use of woody biomass	Wood Biomass Science
	IWAMOTO, Satoshi (Gifu University)	Physical Chemistry and Engineering for Food Materials	Physicochemical studies of phase and/or glass transitions of food colloids for high value-added food production	Colloid Science for Food Materials
	◎NISHIZU, Takahisa (Gifu University)	Food Process Engineering and Chemistry	Research in food physics, food chemistry, and engineering analysis of food process operations	Food Process Engineering and Chemistry
	◎KATSUNO, Nakako (Gifu University)	Food Chemistry and Biochemistry	Study of the chemical and biochemical change in food	Food Chemistry and Biochemistry
	◎YABE, Tomio (Gifu University)	Carbohydrate Biochemistry	Biochemistry and molecular cell biology of glycans for molecular structure and biological functions	Glycobiology
	◎YANASE, Emiko (Gifu University)	Bioorganic Chemistry	Structural analysis and chemical study of plant polyphenols	Bioorganic Chemistry
	◎SUZUKI, Shiro (Gifu University)	Biomass Chemistry	Research of chemical structure, formation, and utilization of biomass	Biomass Chemistry
	KOBORI, Hikaru (Shizuoka University)	Wood Biomass Science	Utilization of wood biomass and development of nondestructive measurement	Wood Based Material Utilization
	◎YAMAUCHI, Kosei (Gifu University)	Natural Product Chemistry	Research of active ingredients in natural products and mechanisms of biological activity	Natural Product Chemistry
	◎IMAZUMI, Teppei (Gifu University)	Postharvest Processing	Study on optimization of post-harvest processes for fruits and vegetables	Postharvest Processing
	(*) ANDO, Yasumasa (Gifu University)	Food Process Engineering	Studies on process development of agricultural products for high-quality foods	Food Process Engineering
	ANDO, Hiromune (Gifu University)	Chemistry Featuring Carbohydrates	Molecular biology-oriented chemical synthesis of carbohydrates and application of their functions to medicinal chemistry	Chemistry on Synthesis and Application of Carbohydrates
	◎IMAMURA, Akihiro (Gifu University)	Applied Carbohydrate Chemistry	Chemical synthesis of biologically-relevant carbohydrate molecules and functional glyco-probes	Applied Carbohydrate Chemistry
	◎UENO, Yoshihito☆ (Gifu University)	Nucleic Acid Chemistry	Design and chemical synthesis of functional nucleic acids for gene therapy and genetic diagnosis	Chemistry of Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids
	SUZUKI, Kenichi (Gifu University)	Cell Biophysics	Studies on cell membrane structures and signal transduction by single-molecule imaging	Cell Biophysics
	TANAKA, Hidenori (Gifu University)	Carbohydrate Chemistry	Synthetic organic chemistry for upgrading bioactive glycans and control of glycan functions	Carbohydrate Chemistry

(*) indicates guest professors from the National Agriculture and Food Research Organization (NARO). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the Institute of Food Research, NARO.

(**) indicates guest professors from the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the AIST.

(◎) indicates professor who can also teach International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology.

(☆) indicates supervisors who will be able to accept new students until the entrance in April 2026.

Course	PROFESSOR	Field of Instruction and Research		Major Subject Offered for Examination
		Research Field	Research Theme	
Science of Biological Resources	NAKAGAWA, Tsutomu (Gifu University)	Applied Biochemistry	Biochemistry and molecular cell biology of enzymes and proteins, and their application	Applied Biochemistry
	NAKAMURA, Kohei (Gifu University)	Microbial Molecular Ecology	Fundamental and applied microbial ecology in anaerobic environments	Microbial Molecular Ecology
	◎SHIMIZU, Masafumi (Gifu University)	Plant Pathology	Studies on plant probiotics and plant-microbe interactions in the rhizosphere	Plant Pathology
	◎NAKAGAWA, Tomoyuki (Gifu University)	Food and Nutritional Biochemistry	Molecular cell biology and molecular breeding of yeasts, Development of industrial enzymes	Food Microbiology
	◎SHIMADA, Masaya (Gifu University)	Molecular Nutrition	Regulation of metabolic diseases (e.g., fatty liver) by nutrients and food components	Molecular Nutrition
	◎EBIHARA, Akio (Gifu University)	Enzyme Science	Studies on structure and function of enzyme	Enzyme Science
	KIZUKA, Yasuhiko (Gifu University)	Glyco-biochemistry	Biochemical studies on physiological functions and disease involvement of glycans	Glyco-biochemistry
	IKKA, Takashi (Shizuoka University)	Plant Nutritional Physiology	Plant nutritional study on abiotic stress tolerance mechanism	Plant Nutritional Physiology
	◎YAMAMOTO, Yoshiharu Y. (Gifu University)	Plant Genome Biology	Study of environmental adaptation and evolution in plants	Plant Genome Biology
	◎KOBAYASHI, Yuriko (Gifu University)	Molecular Plant Nutrition	Molecular mechanisms of plant response and tolerance to nutrition and toxic elements	Molecular Plant Nutrition
	NISHIMURA, Naomichi (Shizuoka University)	Nutritional Biochemistry	Studies on the physiological effects of food components via changed colonic fermentation	Nutritional Biochemistry
	KITAGUCHI, Kohji (Gifu University)	Nutritional Immunology	Studies on the immunomodulation by food ingredients	Nutritional Immunology
	FUJITA, Morihisa (Gifu University)	Systems Glycobiology	Studies on metabolism and transport of glycans and glycoproteins	Systems Glycobiology
	HASHIMOTO, Masayoshi (Shizuoka University)	Plant-Microbe Interactions	Community structure and function of plant-associated microbiota	Plant-Microbe Interactions
	◎TANI, Motohiro (Gifu University)	Genome Microbiology	Studies on structure and physiological function of biomembrane sphingolipids using yeast genetics and biochemistry	Genome Microbiology
	SHIMADA, Atsuhiko (Gifu University)	Enzyme Science	Understanding the reaction mechanisms of enzymes, including respiratory chain proteins, based on their structures	Structural Biology
	NAKAJIMA, Kazuki (Gifu University)	Glycoanalytical Chemistry	Studies of analytical technologies for understanding biological function and metabolic crosstalk of glycans	Glycoanalytical Chemistry
	(**)HORIE, Masanori (Gifu University)	Microorganism Function Control	Application and evaluation of interaction of lactic acid bacteria and animals	Food Microbiology Science
	(**)CHIBA, Yasunori (Gifu University)	Microbial Glycobiology	Production technologies of glycan-engineered proteins and materials by microbes	Microbial Glycobiology
	(**)TATENO, Hiroaki (Gifu University)	Glycan Engineering	Researches of glycan and lectin engineering	Glycan Engineering

(**) indicates guest professors from the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the AIST.

(◎) indicates professor who can also teach International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology.

入試統計・Admission Statistics

令和6年度・2024

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	13(7)	13(7)	13(7)	13(7)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	10(6)	9(5)	9(5)	7(3)
生物資源科学 Science of Biological Resources	6	13(7)	13(7)	13(7)	12(6)
国際連携食品科学技術 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology	2	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)
計 Total	20	38(21)	37(20)	37(20)	34(17)

令和5年度・2023

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	6(4)	6(4)	6(4)	6(4)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	7(3)	7(3)	7(3)	7(3)
生物資源科学 Science of Biological Resources	6	16(6)	16(6)	16(6)	15(6)
国際連携食品科学技術 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology	2	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)
計 Total	20	31(15)	31(15)	31(15)	30(15)

令和4年度・2022

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	10(7)	10(7)	9(6)	8(5)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	6(5)	6(5)	6(5)	5(4)
生物資源科学 Science of Biological Resources	6	18(10)	17(10)	17(10)	15(9)
国際連携食品科学技術 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology	2	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)
計 Total	20	36(23)	35(23)	34(22)	30(19)

令和3年度・2021

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	8(8)	7(7)	7(7)	7(7)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	4(3)	4(3)	4(3)	4(3)
生物資源科学 Science of Biological Resources	6	20(5)	20(5)	20(5)	18(4)
国際連携食品科学技術 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology	2	4(4)	4(4)	2(2)	1(1)
計 Total	20	36(20)	35(19)	33(17)	30(15)

令和2年度・2020

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	9(3)	9(3)	9(3)	7(1)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	6(4)	6(4)	6(4)	2(0)
生物資源科学 Science of Biological Resources	6	11(5)	11(5)	11(5)	7(1)
国際連携食品科学技術 International Joint Ph.D. Program in Food Science & Technology	2	4(4)	4(4)	2(2)	2(2)
計 Total	20	30(16)	30(16)	28(14)	18(4)

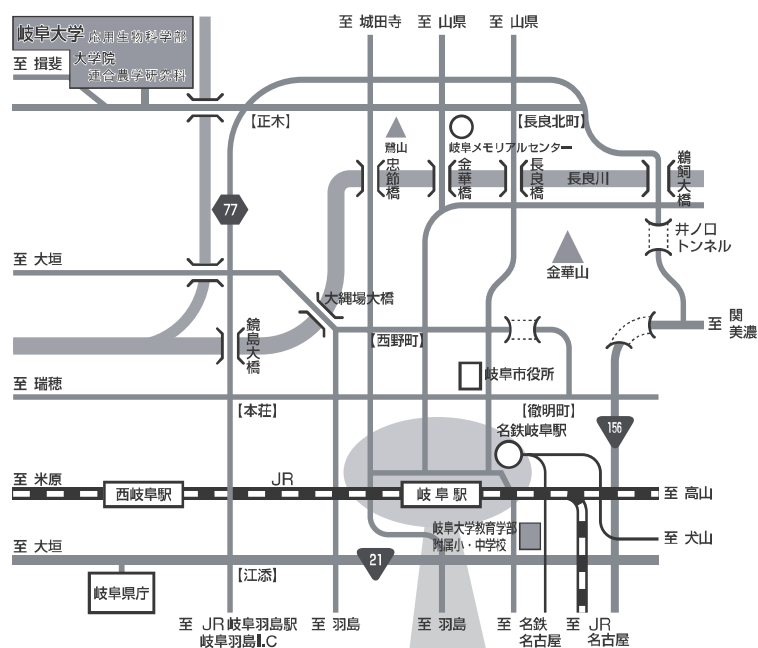
() 内数字は、外国人留学生を内数で示す。

() indicates the number of international students.

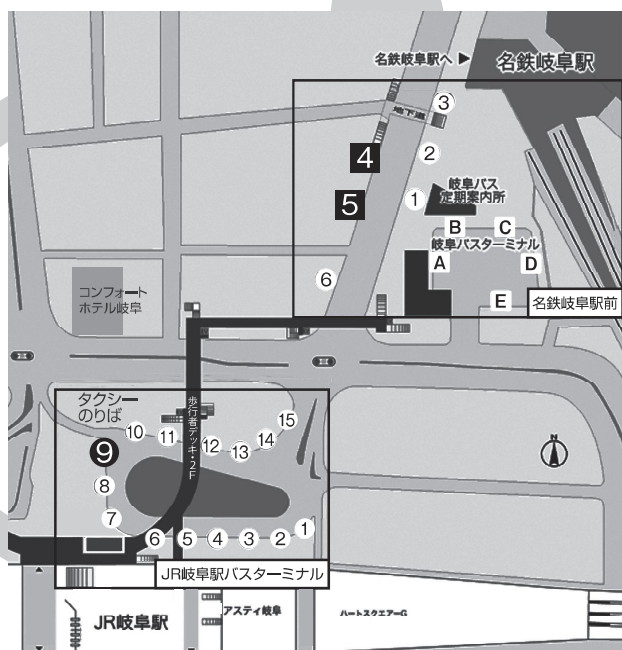
試験場への案内

試験場名	バスのりば		路線名	行先	系統No.
	JR 岐阜駅	名鉄岐阜駅			
岐阜大学大学院 連合農学研究科	バス ターミナル⑨	(北進)のりば ⑤	岐阜大学・病院線 (忠節橋経由)	岐阜大学病院 岐阜大学	C70 C71 C72
		(北進)のりば ④	岐南町線 (長良橋経由)	岐阜大学病院	N45

公共交通機関を利用した場合の料金は、360円。(2025年4月現在)



▼JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺バスのりば

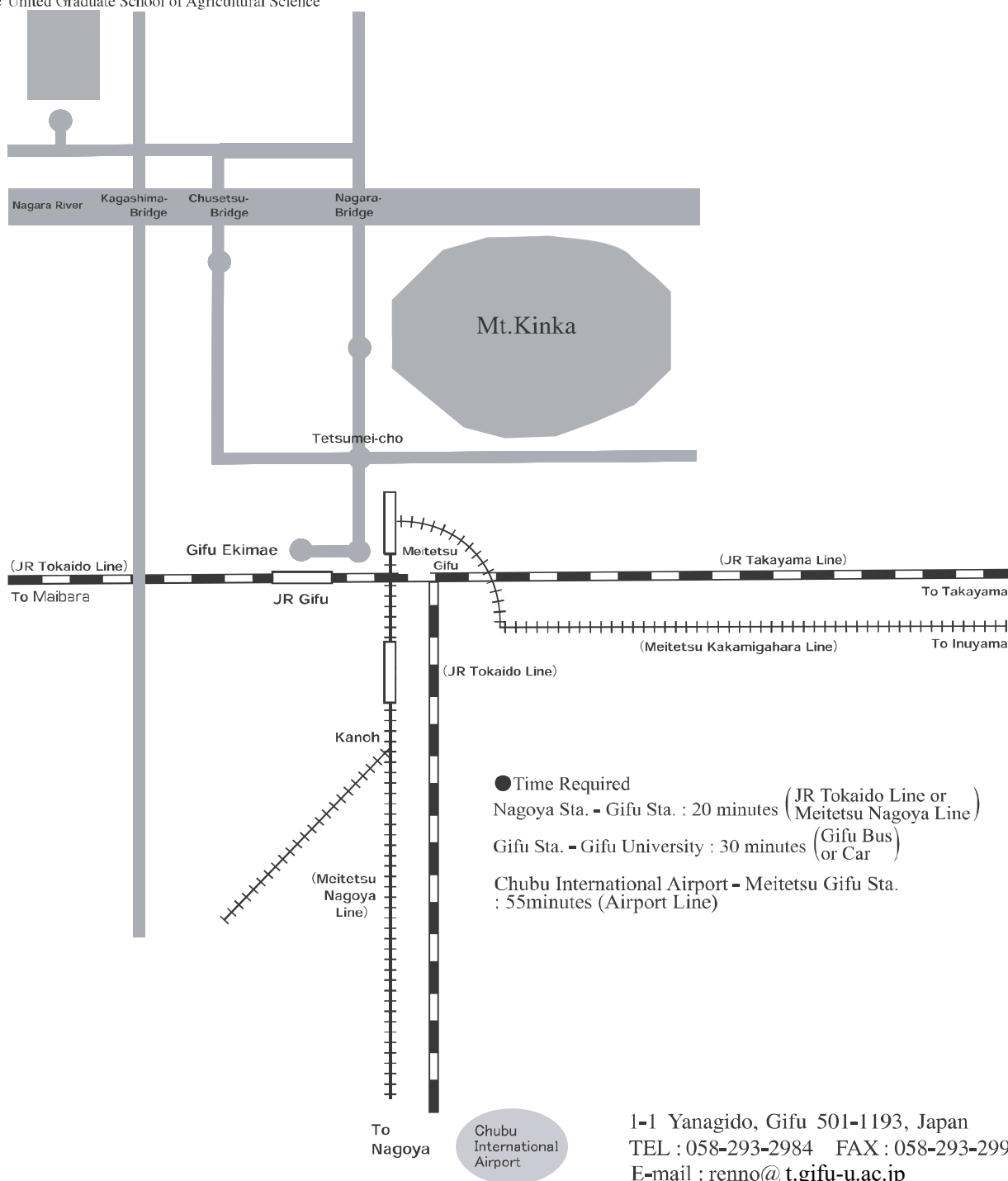


Maps and Directions

Entrance Exam Location	Bus Station		Route / Line	Destination	Bus No.
	JR Gifu Station	Meitetsu Gifu Station			
The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University	Bus Terminal ⑨	Bus stop ⑤ (North bound)	Gifu University • Hospital Line (via Chusetsu Bridge)	Gifu University Hospital Gifu University	C70 C71 C72
		Bus stop ④ (North bound)	Gin'an-cho Line (via Nagara Bridge)	Gifu University Hospital	N45

Bus fare: 360 yen (as of April, 2025)

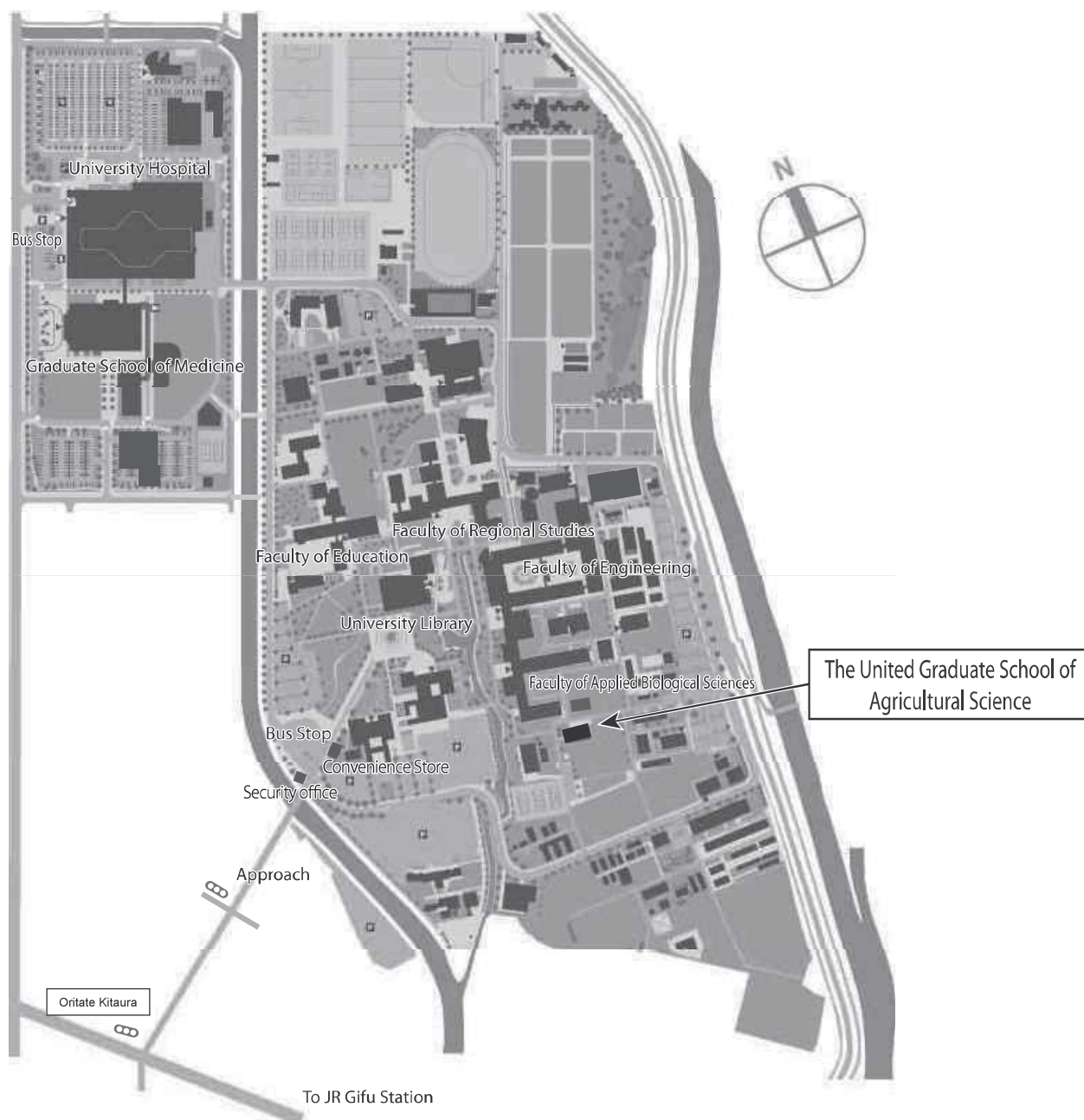
Faculty of Applied
Biological Sciences,
Gifu University
The United Graduate School of Agricultural Science



岐阜大学構内案内図



Campus Map



問い合わせ及び出願書類提出先

岐阜大学大学院連合農学研究科 連合農学係
〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

TEL: (058)293-2984・2985

FAX: (058)293-2992

CONTACT INFORMATION

The United Graduate School of Agricultural Science,
Gifu University
1-1 Yanagido, Gifu 501-1193, JAPAN

E-mail: renno@t.gifu-u.ac.jp

Website: <https://www.ugsas.gifu-u.ac.jp/>

この募集要項の翻訳版（英語）において、意味又は文言に相違があった場合、日本語版が優先します。

In the event of any discrepancy between the Japanese version and the English version, the Japanese version shall prevail.